

令和 6 年度 健保組合医療費の動向に関する調査

令和 8 年 1 月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

【調査の概要】

本調査は、社会保険診療報酬支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」と健保組合提供のデータをもとに、令和 6 年度の健保組合医療費の動向を取りまとめたものです。なお、第 I 部「令和 6 年度 健保組合医療費の概況」(1,378 組合)と第 II 部「令和 6 年度 疾病別医科医療費（調剤医療費を含まない）の動向」(1,304 組合)では、集計組合数と診療報酬明細書（レセプト）データが異なる点にご留意下さい。

【調査結果のポイント】

（第 I 部）医療費の概況（1,378 組合）

- 令和 6 年度医療費は対前年度 +1.1%（+590 億円）増の 5 兆 4,151 億円。
- 診療種別別にみると、医科診療医療費は 3 兆 5,481 億円（対前年度▲0.2%）、歯科診療医療費は 6,575 億円（同 +4.5%）、薬局調剤医療費は 1 兆 1,777 億円（同 +2.8%）、訪問看護医療費は 318 億円（同 +15.8%）となっている。
- 本人・家族別加入者 1 人当たり医療費をみると、本人は 18 万 5,465 円（対前年度 +1.9%）、家族は 19 万 4,697 円（同 +1.2%）、そのうち未就学児は 24 万 7,360 円（同▲3.7%）となっている。また、高齢者では 70-74 歳が 55 万 7,708 円（同 +1.5%）、65-74 歳（前期高齢者）が 46 万 5,138 円（同 +0.7%）となっている。

（第 II 部）疾病分類別医療費（1,304 組合）

- 疾病分類別医療費（医科診療計）の構成割合をみると、①新生物：15.1%、②呼吸器系疾患：11.9%、③循環器系疾患：9.8%、④内分泌・栄養・代謝疾患：7.2%、⑤腎尿路生殖器系疾患：6.9%—となっており、上位 5 疾患で全体の 50.9%を占める。
- 加入者 1 人当たり医療費は、①新生物：1 万 7,589 円、②呼吸器系疾患：1 万 3,865 円、③循環器系疾患：1 万 1,468 円、④内分泌・栄養・代謝疾患：8,388 円、⑤腎尿路生殖器系疾患：8,050 円。
- 推計新規入院件数（件/千人）は、新生物が 8.0 件と最も多く、次いで、消化器系疾患：6.6 件、損傷・中毒・外因性：4.8 件、呼吸器系疾患：4.7 件。
- 推計平均在院日数は、精神・行動障害：75.8 日が最も長く、次いで、神経系疾患：15.9 日、循環器系疾患：15.6 日。
- 推計 1 入院当たり医療費は、精神・行動障害が 164 万 4,733 円と最も高く、次いで、循環器系疾患：146 万 2,618 円、筋骨格系・結合組織疾患：113 万 3,853 円。

第1部

令和6年度医療費の概況

(社会保険診療報酬支払基金の再審査分等調整後の確定ベース医療費)

I. 医療費の概況

(1) 医療費の年次推移	4
(2) 診療種別医療費	5
(3) 診療種別加入者1人当たり医療費	6
(4) 本人・家族・高齢者別医療費	7
(5) 本人・家族・高齢者別加入者1人当たり医療費	8
(参考) 本人・家族・高齢者別 診療種別加入者1人当たり医療費及び構成割合	9
【総括表】診療種別 本人・家族・高齢者別医療費及び加入者1人当たり医療費	10
【参考①】医療費総額の対前年度伸び率の月別推移	11
【参考②】医療費総額及び診療種別医療費の対前年度伸び率の月別推移	12

第2部

疾病分類別にみた医療費及び受診状況

I. 疾病分類別医療費

(1) 医科診療計(*調剤医療費を除く)	14
(2) 医科入院	19
(3) 医科入院外(*調剤医療費を除く)	27
(4) 歯科診療計	31

II. 疾病分類別推計受診者数(年度平均)

(1) 医科診療計	34
(2) 医科入院	37
(3) 医科入院外	40
(4) 歯科診療計	43

(巻末)

1. 本調査における留意点	45
2. 用語の定義	47

■ 第 1 部

令和 6 年度医療費の概況

(社会保険診療報酬支払基金の再審査分等調整後の確定ベース医療費)

I. 医療費の概況

(1) 医療費の年次推移	4
(2) 診療種別医療費	5
(3) 診療種別加入者 1 人当たり医療費	6
(4) 本人・家族・高齢者別医療費	7
(5) 本人・家族・高齢者別加入者 1 人当たり医療費	8
(参考) 本人・家族・高齢者別 診療種別加入者 1 人当たり医療費及び構成割合	9
【総括表】診療種別 本人・家族・高齢者別医療費及び加入者 1 人当たり医療費	10
【参考①】医療費総額の対前年度伸び率の月別推移	11
【参考②】医療費総額及び診療種別医療費の対前年度伸び率の月別推移	12

I. 医療費の概況

(1) 医療費の年次推移

- 6年度の医療費総額は5兆4,151億円で、前年度に比べ589億円の増加（対前年度+1.1%）となっている。
- 加入者1人当たり医療費は19万3,436円で、前年度に比べ2,842円の増加（対前年度+1.5%）となっている。

医療費及び加入者1人当たり医療費の年次推移

年次	健康保険組合				(参考) 国民医療費		(参考) 後期高齢者医療費の国民医療費に対する割合(%)
	医療費 (億円)	伸び率 (%)	1人当たり 医療費 (円)	伸び率 (%)	医療費 (億円)	伸び率 (%)	
平成23年度	40,860	2.0	138,493	2.3	385,850	3.1	34.5
24年	41,410	1.4	140,712	1.6	392,117	1.6	34.9
25年	41,694	0.7	142,537	1.3	400,610	2.2	35.4
26年	42,475	1.9	145,441	2.0	408,071	1.9	35.5
27年	43,954	3.5	151,053	3.9	423,644	3.8	35.7
28年	44,202	0.6	150,145	-0.6	421,381	-0.5	36.5
29年	45,518	3.0	154,475	2.9	430,710	2.2	37.2
30年	46,209	1.5	156,438	1.3	433,949	0.8	27.8
令和元年度	46,347	0.3	160,462	2.6	443,895	2.3	38.4
2年	44,112	-4.8	153,217	-4.5	429,665	-3.2	38.6
3年	48,132	9.1	168,912	10.2	450,359	4.8	37.9
4年	51,261	6.5	181,118	7.2	466,967	3.7	38.2
5年	53,561	4.5	190,594	5.2	480,915	3.0	39.1
6年	54,151	1.1	193,436	1.5	—	—	—

注1) 令和6年度の組合数は1,378組合である。

注2) 国民医療費は、厚労省「令和5(2023)年度 国民医療費の概況」による。

注3) 後期高齢者医療費の国民医療費に対する割合は、厚労省「令和5年度 後期高齢者医療事業状況報告(年報)」による。

（２）診療種類別医療費

- 診療種類別にみると、内科診療医療費は 3 兆 5,481 億円（構成割合 65.5%）、そのうち、入院医療費は 1 兆 2,725 億円（同 23.5%）、入院外医療費は 2 兆 2,756 億円（同 42.0%）となっている。歯科診療医療費計は 6,575 億円（同 12.1%）、薬局調剤医療費は 1 兆 1,777 億円（同 21.7%）、訪問看護医療費は 318 億円（同 0.6%）となっている。
- 対前年度伸び率をみると、内科診療医療費は▲0.2%の減少、歯科診療計は＋4.5%の増加、薬局調剤医療費は＋2.8%の増加、訪問看護医療費は＋15.8%の増加となっている。
-

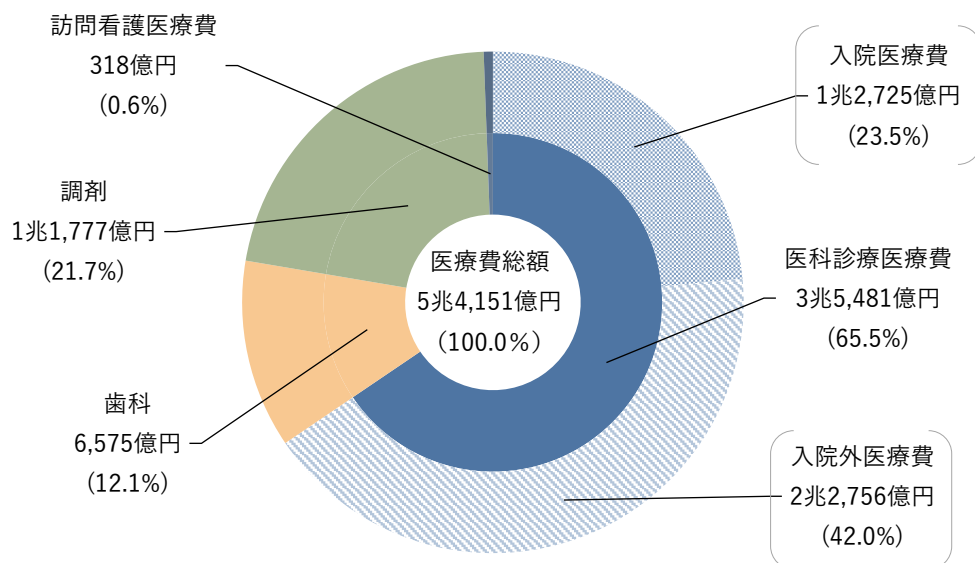
診療種類別医療費及び構成割合、対前年度伸び率

診療種類	令和 6 年度		令和 5 年度		対前年度	
	医療費 (億円)	構成割合 (%)	医療費 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	伸び率 (%)
総計	54,151	100.0	53,561	100.0	589	1.1
診療費計	42,056	77.7	41,831	78.1	225	0.5
内科医療費計	35,481	65.5	35,536	66.3	▲56	▲0.2
入院医療費	12,725	23.5	12,329	23.0	395	3.2
入院外医療費	22,756	42.0	23,207	43.3	▲451	▲1.9
歯科医療費計	6,575	12.1	6,294	11.8	281	4.5
薬局調剤医療費	11,777	21.7	11,456	21.4	321	2.8
訪問看護医療費	318	0.6	274	0.5	43	15.8

注 1) 内科入院費は入院時食医療費及び入院時生活医療費を含む。

注 2) 端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

診療種類別医療費及び構成割合



（３）診療種類別¹加入者１人当たり医療費

- 診療種類別加入者１人当たり医療費をみると、医科入院は４万５,４５４円、医科入院外は８万１,２９０円、歯科計は２万３,４８６円、調剤は４万２,０７０円となっている。
- 対前年度伸び率をみると、医科入院は＋３.６％の増加、医科入院外は▲１.６％の減少、歯科計は＋４.９％の増加、調剤は＋３.２％の増加となっている。
- 歯科計の対前年度伸び率が増加した要因を医療費３要素分解からみると、１件当たり日数は▲２.１％減少したものの、受診率が＋３.６％、さらに１日当たり医療費が＋３.５と増加したことによる。
- また、医科入院外が医科入院と比べて伸び率が低いのは、１件当たり日数が医科入院より＋０.７ポイント高いものの、１日当たり医療費が▲５.８ポイント低いからである。

診療種類別 加入者１人当たり医療費及び医療費３要素

診療種類	加入者１人当たり 医療費（円）	受診率 （件/千人）	１件当たり 日数（日）	１日当たり 医療費（円）
医科入院	45,454	77	8.17	71,801
医科入院外	81,290	6,863	1.34	8,846
歯科計	23,486	1,936	1.43	8,501
調剤	42,070	4,696	1.16	7,692

診療種類別 加入者１人当たり医療費及び医療費３要素 対前年度伸び率（％）

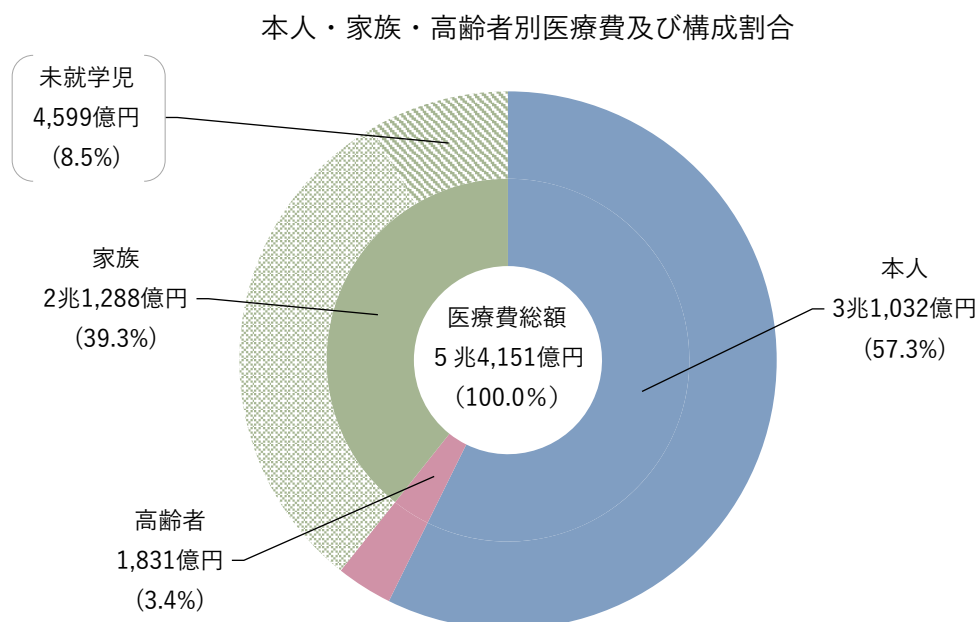
診療種類	加入者１人当たり 医療費	受診率	１件当たり 日数	１日当たり 医療費
医科入院	3.6	1.2	▲0.7	3.1
医科入院外	▲1.6	1.4	0.0	▲2.7
歯科計	4.9	3.6	▲2.1	3.5
調剤	3.2	2.5	▲0.9	0.9

注）調剤レセプトは診療実日数ではなく、処方箋発行回数を使用しているため、「１件当たり日数」は「１件当たり回数」、「１日当たり医療費」は「１回当たり医療費」となる。

¹ 診療種類名については、便宜上、入院医療費を「医科入院」、入院外医療費を「医科入院外」、歯科診療医療費計を「歯科計」、薬局調剤医療費を「調剤」としている（以下、同じ）。

（４）本人・家族・高齢者別医療費

- 本人・家族・高齢者別医療費をみると、本人は 3 兆 1,032 億円（構成割合 57.3%）、家族は 2 兆 1,288 億円（同 39.3%）、そのうち、未就学児は 4,599 億円（同 8.5%。なお、家族に占める割合は 21.6%）となっている。
- また、高齢者では、70-74 歳が 1,831 億円（同 3.4%）、65-74 歳（前期高齢者）が 4,831 億円（同 8.9%）となっている。
- 対前年度伸び率をみると、本人は 3.2%の増加、家族は▲1.5%の減少、そのうち、未就学児は▲7.2%の減少となっている。
- また、高齢者では、70-74 歳が▲3.2%の減少、65-74 歳（前期高齢者）が 2.7%の増加となっている。



本人・家族・高齢者別医療費及び対前年度伸び率

本人・家族・高齢者	令和 6 年度		令和 5 年度		対前年度	
	医療費 (億円)	構成割合 (%)	医療費 (億円)	構成割合 (%)	増減額 (億円)	伸び率 (%)
総計	54,151	100.0	53,561	100.0	589	1.1
本人	31,032	57.3	30,059	56.1	974	3.2
家族	21,288	39.3	21,611	40.3	▲323	▲1.5
未就学児（再掲）	4,599	8.5	4,956	9.3	▲357	▲7.2
高齢者（70-74 歳）	1,831	3.4	1,891	3.5	▲61	▲3.2
前期高齢者（再掲）	4,831	8.9	4,704	8.8	127	2.7

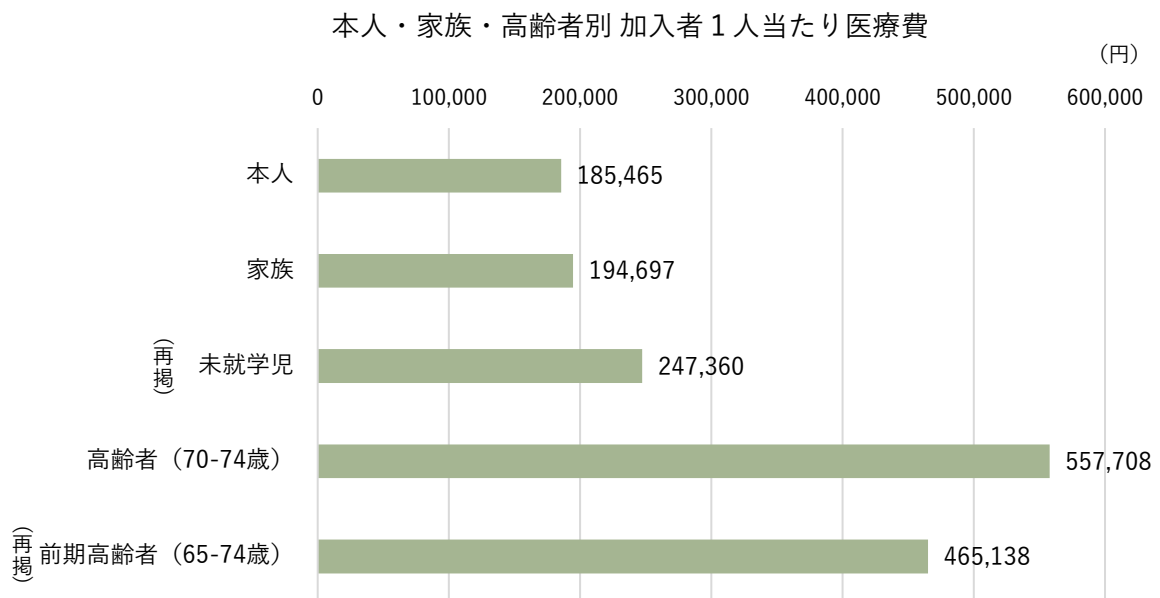
注1) 高齢者は、本人・家族を除いた 70-74 歳の加入者のことである。

注2) 前期高齢者（再掲）は、65-74 歳の加入者のことである。

注3) 端数処理の関係上、合計が一致しない場合がある。

(5) 本人・家族・高齢者別加入者 1 人当たり医療費

- 本人・家族・高齢者別加入者 1 人当たり医療費をみると、本人は 18 万 5,465 円、家族は 19 万 4,697 円、そのうち、未就学児は 24 万 7,360 円となっている。
- また、高齢者では、70-74 歳が 55 万 7,708 円、65-74 歳（前期高齢者）が 46 万 5,138 円となっている。
- 対前年度伸び率をみると、本人は 1.9%の増加、家族は 1.2%の増加、そのうち、未就学児は▲3.7%の減少となっている。
- また、高齢者では、70-74 歳が 1.5%の増加、65-74 歳（前期高齢者）が 0.7%の増加となっている。



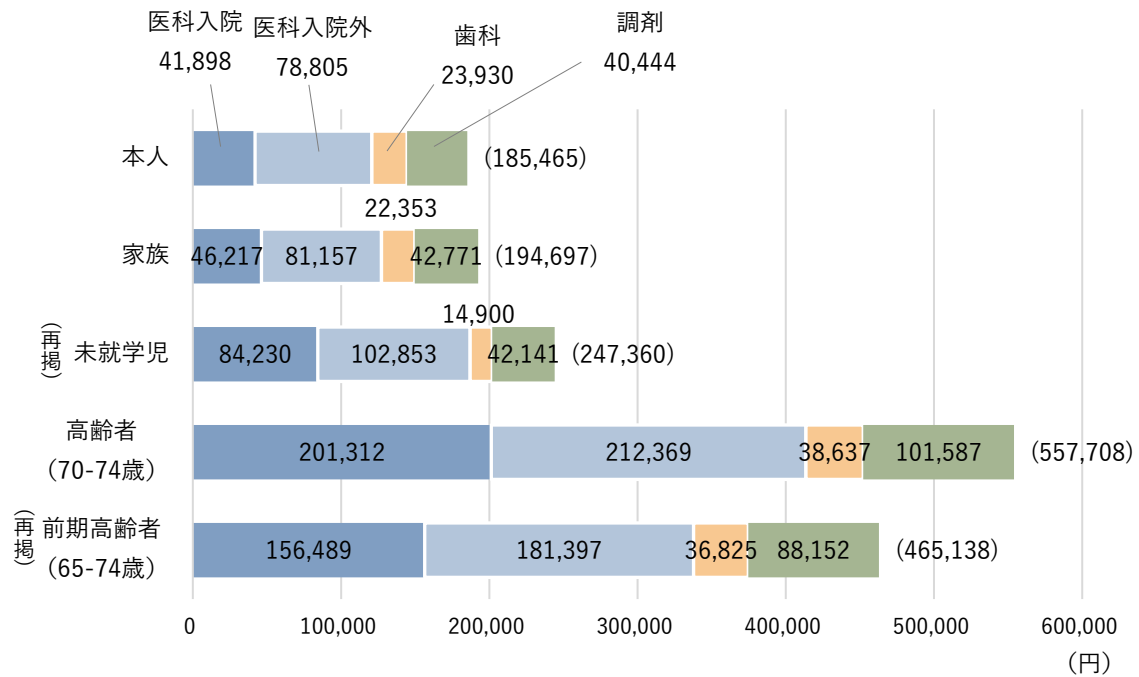
本人・家族・高齢者別 加入者 1 人当たり医療費及び対前年度伸び率

本人・家族・高齢者	加入者 1 人当たり医療費 (円)		対前年度	
	令和 6 年度	令和 5 年度	増減額 (円)	伸び率 (%)
総計	193,436	190,594	2,842	1.5
本人	185,465	181,928	3,537	1.9
家族	194,697	192,344	2,353	1.2
未就学児 (再掲)	247,360	256,930	▲9,570	▲3.7
高齢者 (70-74 歳)	557,708	549,410	8,298	1.5
前期高齢者 (再掲)	465,138	461,728	3,410	0.7

(参考) 本人・家族・高齢者別 診療種類別加入者 1 人当たり医療費及び構成割合

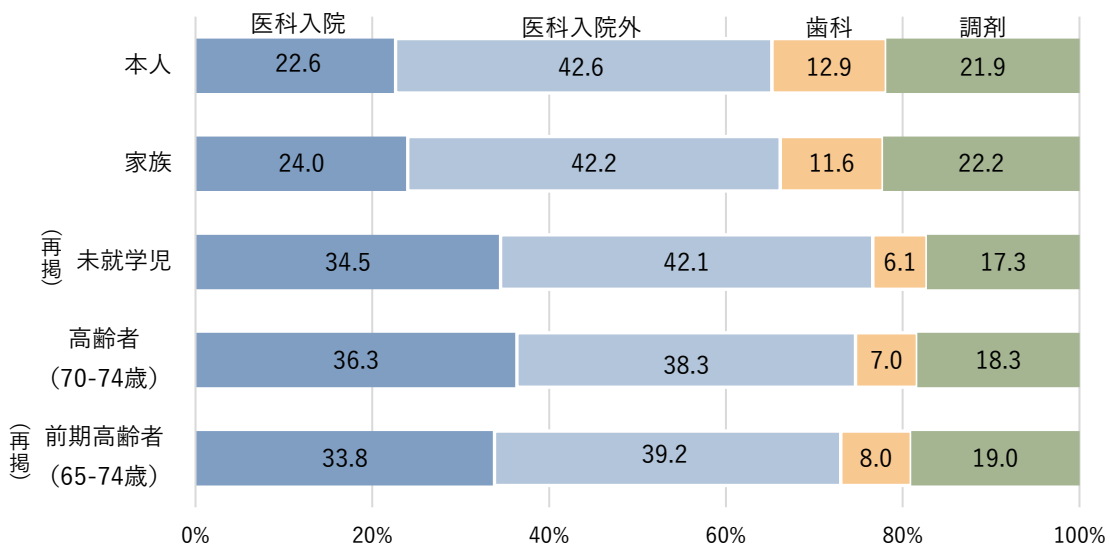
- 本人・家族では医科入院外の割合が高く、高齢者では、本人・家族に比べ、医科入院の割合が高くなっている。なお、未就学児は、本人・家族に比べ、医科入院が高い割合となっている。

本人・家族・高齢者別 診療種類別 加入者 1 人当たり医療費



注) カッコ内は、訪問看護医療費を含めた加入者 1 当たり医療費である。

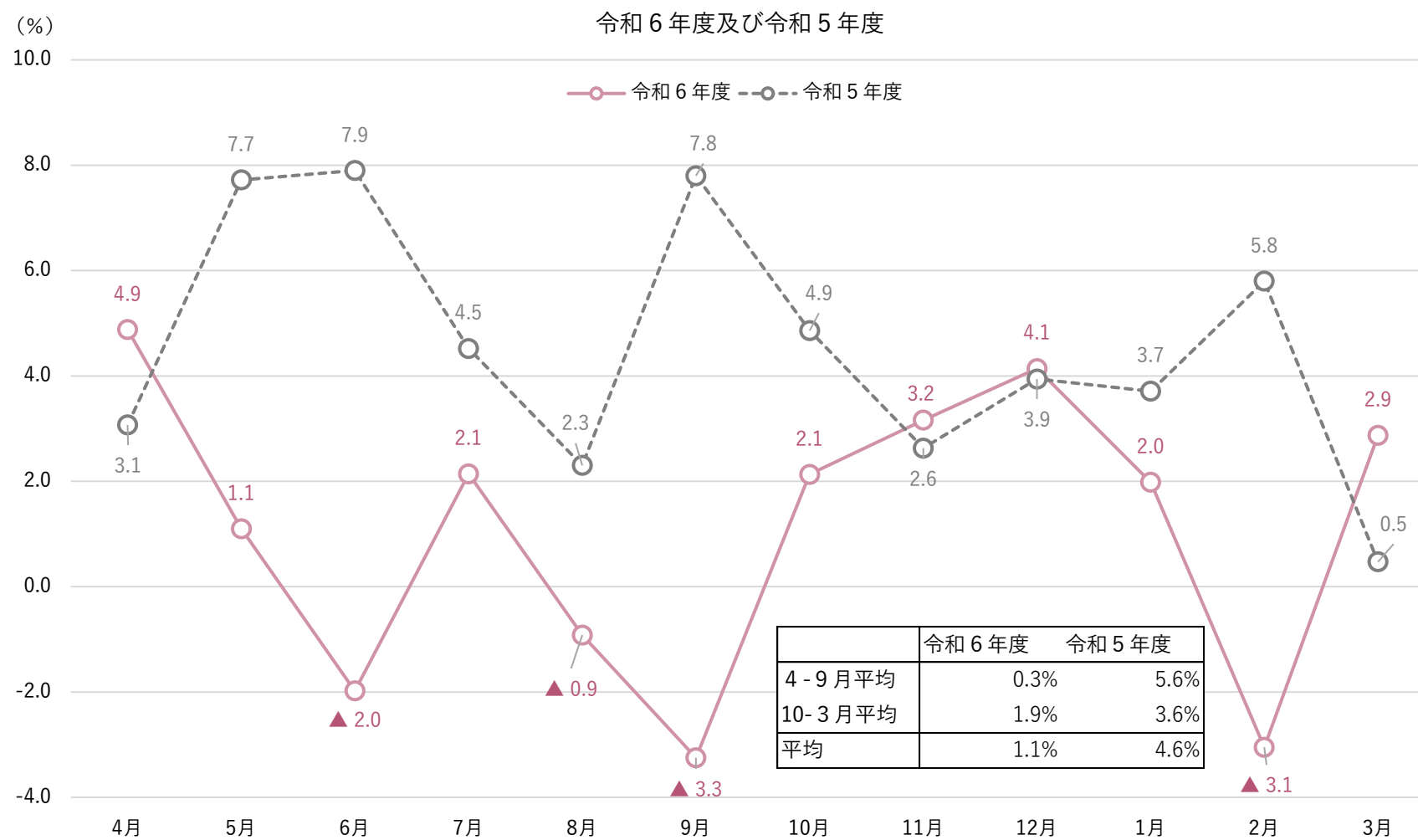
本人・家族・高齢者別 1 人当たり医療費の診療種類別構成割合



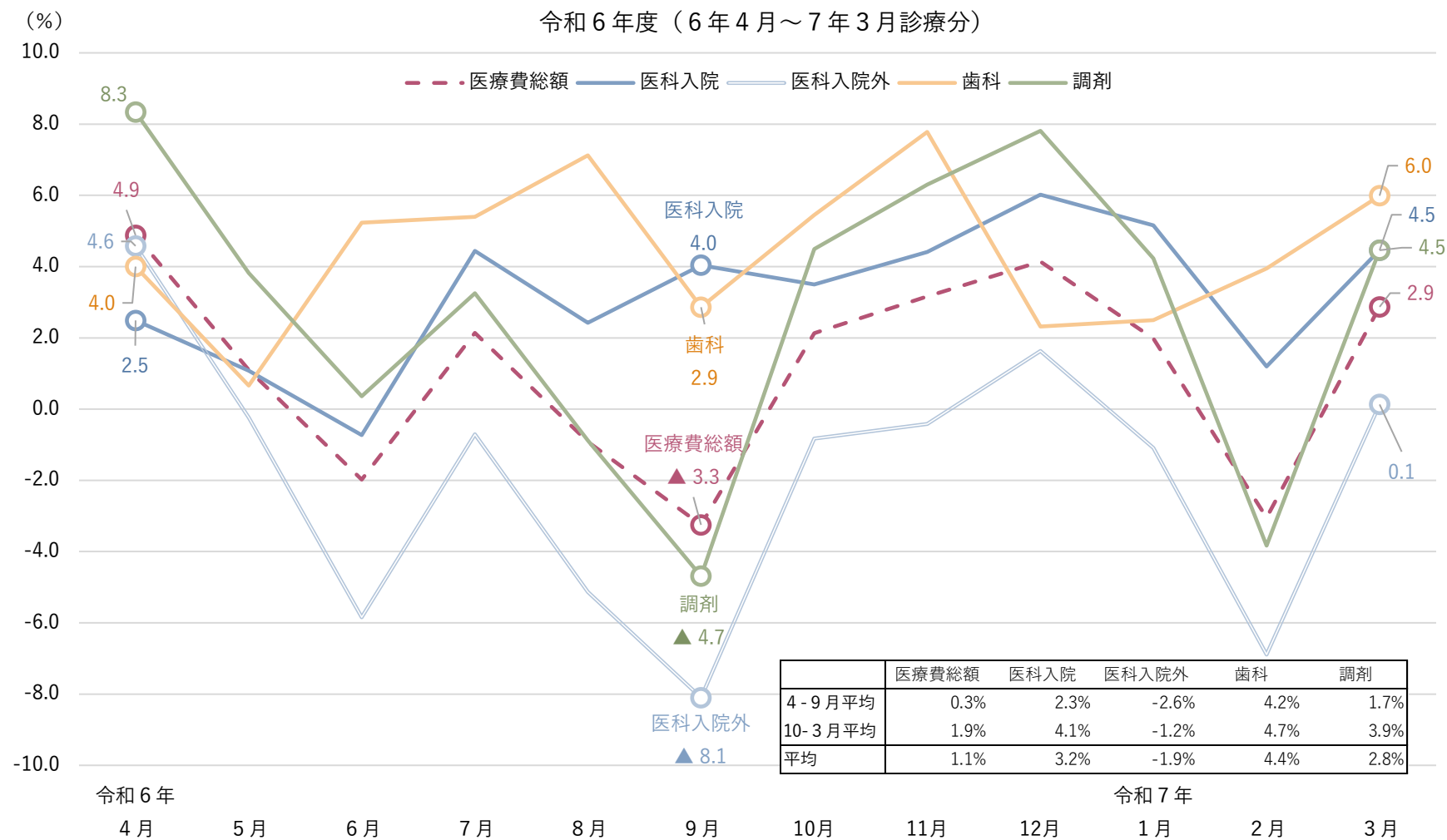
【総括表】診療種類別 本人・家族・高齢者別医療費及び加入者 1 人当たり医療費

本人・家族・高齢者	令和 6 年度			令和 5 年度			対前年度	
	医療費 (億円)	構成割合 (%)	1 人当 り医療費 (円)	医療費 (億円)	構成割合 (%)	1 人当 り医療費 (円)	1 人当 り増減額 (円)	1 人当 り伸び率 (%)
総数								
総計	54,151	100.0	193,436	53,561	100.0	190,594	2,842	1.5
本人	31,032	57.3	185,465	30,059	56.1	181,928	3,537	1.9
家族	21,288	39.3	194,697	21,611	40.3	192,344	2,353	1.2
未就学児（再掲）	4,599	8.5	247,360	4,956	9.3	256,930	▲9,570	▲3.7
高齢者（70-74 歳）	1,831	3.4	557,708	1,891	3.5	549,410	8,298	1.5
前期高齢者（再掲）	4,831	8.9	465,138	4,704	8.8	461,728	3,410	0.7
内科入院								
総計	12,725	100.0	45,454	12,329	100.0	43,873	1,581	3.6
本人	7,010	55.1	41,898	6,684	54.2	40,456	1,442	3.6
家族	5,053	39.7	46,217	4,967	40.3	44,210	2,007	4.5
未就学児（再掲）	1,566	12.3	84,230	1,568	12.7	81,295	2,935	3.6
高齢者（70-74 歳）	661	5.2	201,312	678	5.5	196,896	4,416	2.2
前期高齢者（再掲）	1,625	12.8	156,489	1,564	12.7	153,507	2,982	1.9
内科入院外								
総計	22,756	100.0	81,290	23,207	100.0	82,581	▲1,291	▲1.6
本人	13,186	57.9	78,805	13,014	56.1	78,766	39	0.0
家族	8,874	39.0	81,157	9,470	40.8	84,281	▲3,124	▲3.7
未就学児（再掲）	1,912	8.4	102,853	2,254	9.7	116,851	▲13,998	▲12.0
高齢者（70-74 歳）	697	3.1	212,369	724	3.1	210,225	2,144	1.0
前期高齢者（再掲）	1,884	8.3	181,397	1,850	8.0	181,546	▲149	▲0.1
歯科								
総計	6,575	100.0	23,486	6,294	100.0	22,397	1,089	4.9
本人	4,004	60.9	23,930	3,800	60.4	22,997	933	4.1
家族	2,444	37.2	22,353	2,364	37.6	21,043	1,310	6.2
未就学児（再掲）	277	4.2	14,900	270	4.3	13,996	904	6.5
高齢者（70-74 歳）	127	1.9	38,637	130	2.1	37,777	860	2.3
前期高齢者（再掲）	382	5.8	36,825	367	5.8	36,050	775	2.1
調剤								
総計	11,777	100.0	42,070	11,456	100.0	40,766	1,304	3.2
本人	6,767	57.5	40,444	6,506	56.8	39,376	1,068	2.7
家族	4,677	39.7	42,771	4,602	40.2	40,957	1,814	4.4
未就学児（再掲）	783	6.7	42,141	811	7.1	42,029	112	0.3
高齢者（70-74 歳）	333	2.8	101,587	348	3.0	101,230	357	0.4
前期高齢者（再掲）	916	7.8	88,152	902	7.9	88,488	▲336	▲0.4

【参考①】医療費総額の対前年度伸び率の月別推移



【参考②】医療費総額及び診療種類別医療費の対前年度伸び率の月別推移



■ 第2部

疾病分類別にみた医療費及び受診状況

I. 疾病分類別医療費

(1) 医科診療計（＊調剤医療費を除く）	14
(2) 医科入院	19
(3) 医科入院外（＊調剤医療費を除く）	27
(4) 歯科診療計	31

II. 疾病分類別推計受診者数（年度平均）

(1) 医科診療計	34
(2) 医科入院	37
(3) 医科入院外	40
(4) 歯科診療計	43

（巻末）

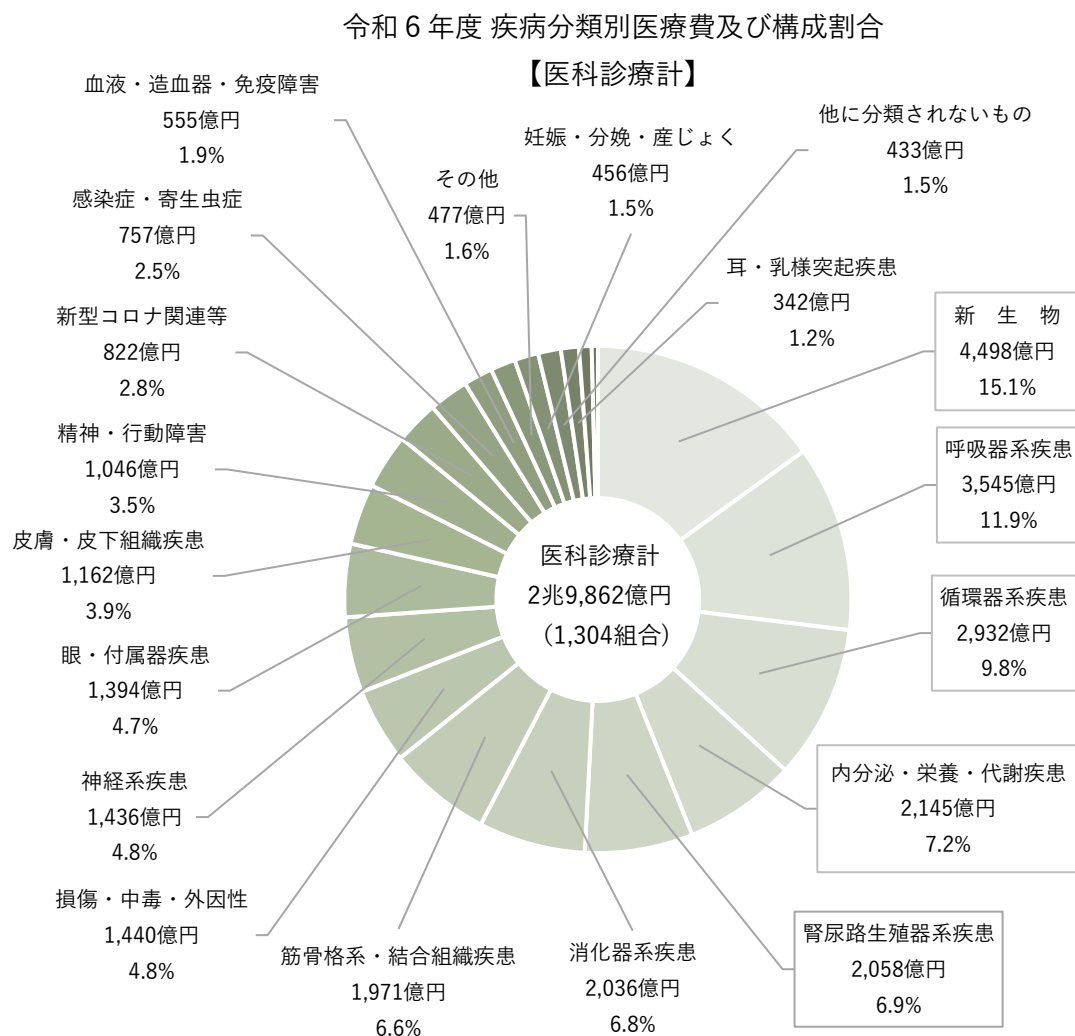
1. 本調査における留意点	45
2. 用語の定義	47

I. 疾病分類別医療費

(1) 医科診療計（*調剤医療費を除く）

1) 医療費及び構成割合

- 疾病分類別医療費をみると、①新生物：4,498 億円（構成割合 15.1%）が最も高く、次いで、②呼吸器系疾患：3,545 億円（同 11.9%）、③循環器系疾患：2,932 億円（同 9.8%）、④内分泌・栄養・代謝疾患：2,145 億円（同 7.2%）、⑤腎尿路生殖器系疾患：2,058 億円（同 6.9%） — となっている。



注) 医療費割合が 1.0%未満の疾病については、グラフ中の表示を省略している（以下、同じ）。

(参考) 疾病分類別医療費構成割合：前年度との比較

医科診療計

疾病分類	構成割合 (%)	
	令和 6 年度 (1,304 組合)	令和 5 年度 (1,310 組合)
感染症・寄生虫症	2.5	2.4
新生物	15.1	14.6
血液・造血器・免疫障害	1.9	1.8
内分泌・栄養・代謝疾患	7.2	7.3
精神・行動障害	3.5	3.4
神経系疾患	4.8	4.4
眼・付属器疾患	4.7	4.5
耳・乳様突起疾患	1.2	1.1
循環器系疾患	9.8	9.3
呼吸器系疾患	11.9	10.8
消化器系疾患	6.8	6.6
皮膚・皮下組織疾患	3.9	3.7
筋骨格系・結合組織疾患	6.6	6.3
腎尿路生殖器系疾患	6.9	6.8
妊娠・分娩・産じょく	1.5	1.5
周産期発生病態	0.4	0.4
先天奇形変形・染色体異常	0.8	0.8
他に分類されないもの	1.5	1.3
損傷・中毒・外因性	4.8	4.5
新型コロナ関連等	2.8	7.0
その他	1.6	1.5

注 1) 「他に分類されないもの」とは、「XVIII：症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)」である。

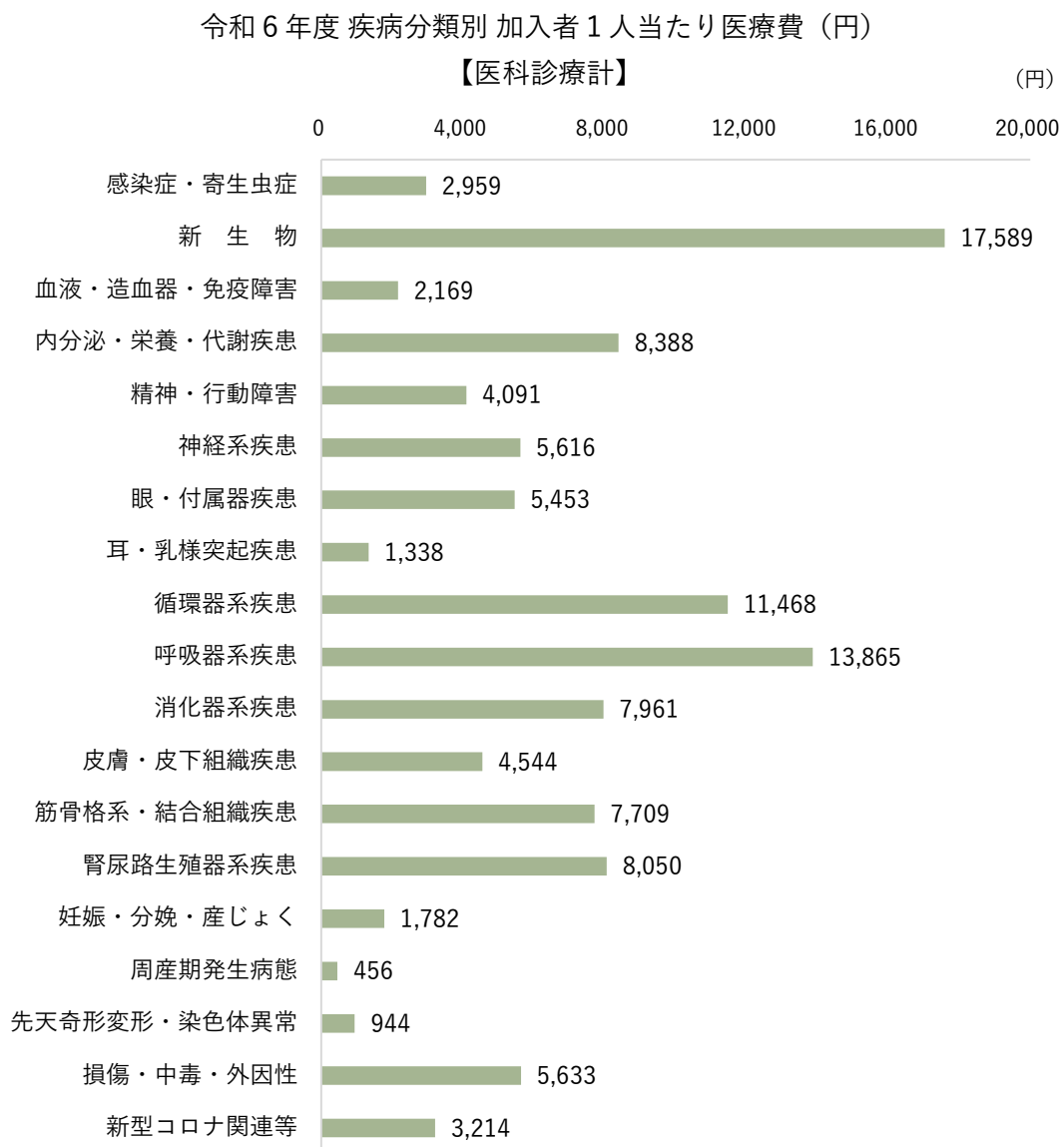
注 2) 「新型コロナ関連等」は、新型コロナウイルス (COVID-19) が疾病分類上、「XXII：特殊目的用コード (U00-99)」に分類されているため、本調査では便宜上、名称を「新型コロナ関連等」と置き換えている。

注 3) 「その他」とは、「XXI：健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)」のほか、ワープロ病名・不詳等である。

注 4) なお、加入者 1 人当たり及び医療費 3 要素等の諸指標 (別掲「グラフ」) については、便宜上、「他に分類されるもの」及び「その他」を省略している。

2) 加入者1人当たり医療費

- 加入者1人当たり医療費を高い順にみると、①新生物：1万7,589円、②呼吸器系疾患：1万3,865円、③循環器系疾患：1万1,468円、④内分泌・栄養・代謝疾患：8,388円、⑤腎尿路生殖器系疾患：8,050円—となっている。
- 加入者1人当たり医療費が高い新生物と呼吸器系疾患について、医療費3要素分解²を用いて比較すると（p.17）、呼吸器系疾患は新生物に比べ、受診率が+1,193.143高いが、新生物は呼吸器系疾患に比べ、1件当たり日数が+0.33日長く、さらに1日当たり医療費が+3万3,854円高いため、加入者1人当たり医療費が高くなっている。



² 加入者1人当たり医療費＝受診率×レセプト1件当たり日数×1日当たり医療費

(参考) 令和 6 年度 疾病分類別 加入者 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素

医科診療計				
疾病分類	1 人当たり医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1 件当たり日数 (日)	1 日当たり医療費 (円)
感染症・寄生虫症	2,959	255.456	1.46	7,947
新生物	17,589	257.221	1.67	40,980
血液・造血器・免疫障害	2,169	30.591	1.63	43,394
内分泌・栄養・代謝疾患	8,388	522.922	1.19	13,523
精神・行動障害	4,091	341.428	1.53	7,816
神経系疾患	5,616	245.989	1.43	15,930
眼・付属器疾患	5,453	597.800	1.13	8,040
耳・乳様突起疾患	1,338	129.278	1.41	7,341
循環器系疾患	11,468	480.212	1.27	18,745
呼吸器系疾患	13,865	1,450.364	1.34	7,126
消化器系疾患	7,961	313.599	1.38	18,408
皮膚・皮下組織疾患	4,544	694.515	1.23	5,335
筋骨格系・結合組織疾患	7,709	402.773	2.03	9,408
腎尿路生殖器系疾患	8,050	279.703	1.72	16,707
妊娠・分娩・産じょく	1,782	17.704	3.16	31,888
周産期発生病態	456	1.973	4.11	56,212
先天奇形変形・染色体異常	944	13.453	1.51	46,512
損傷・中毒・外因性	5,633	209.009	2.05	13,119
新型コロナ関連等	3,214	255.698	1.22	10,267

3) 加入者1人当たり医療費の対前年度伸び率：1,283 組合ベース³

- 加入者1人当たり医療費の対前年度伸び率を高い順にみると、呼吸器系疾患が+11.2%と最も増加し、次いで、神経系疾患+10.6%、感染症・寄生虫症+8.7%—の増加となっている。一方、新型コロナ関連等は▲59.9%と大きく減少した。
- 呼吸器系疾患が大きく伸びた要因を医療費3要素分解からみると、1日当たり医療費は▲3.3%減少したものの、受診率が+13.2%と大きく増加したことによる。
- また、新型コロナ関連等が大きく減少した要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数が▲9.6%減少し、1日当たり医療費が▲16.5%と減少したほか、受診率が▲47.2%と大きく減少したことによる⁴。

令和6年度 医療費総額、加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度伸び率(%)

医科診療計					
疾病分類	医療費総額	加入者1人 当たり医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	7.7	8.7	8.8	▲0.7	0.8
新生物	2.3	3.2	3.5	▲0.6	0.5
血液・造血器・免疫障害	5.6	6.5	3.8	▲1.2	3.3
内分泌・栄養・代謝疾患	▲2.6	▲1.8	▲6.5	0.0	5.7
精神・行動障害	4.4	5.3	6.7	▲1.3	0.1
神経系疾患	9.6	10.6	4.8	▲0.7	6.0
眼・付属器疾患	2.3	3.2	2.0	0.0	1.3
耳・乳様突起疾患	2.2	3.1	2.9	0.0	0.3
循環器系疾患	4.5	5.4	9.8	▲1.6	▲2.8
呼吸器系疾患	10.2	11.2	13.2	1.5	▲3.3
消化器系疾患	2.8	3.7	3.8	0.0	▲0.3
皮膚・皮下組織疾患	4.5	5.4	2.5	0.0	2.7
筋骨格系・結合組織疾患	4.5	5.4	3.3	▲1.5	3.4
腎尿路生殖器系疾患	2.0	2.9	6.1	▲0.6	▲2.5
妊娠・分娩・産じょく	▲0.3	0.6	▲3.0	0.6	3.1
周産期発生病態	▲7.6	▲6.9	▲4.4	▲1.9	▲0.7
先天奇形変形・染色体異常	▲0.7	0.2	2.5	▲2.0	▲0.5
損傷・中毒・外因性	6.2	7.1	5.3	▲0.5	2.2
新型コロナ関連等	▲60.2	▲59.9	▲47.2	▲9.6	▲16.5

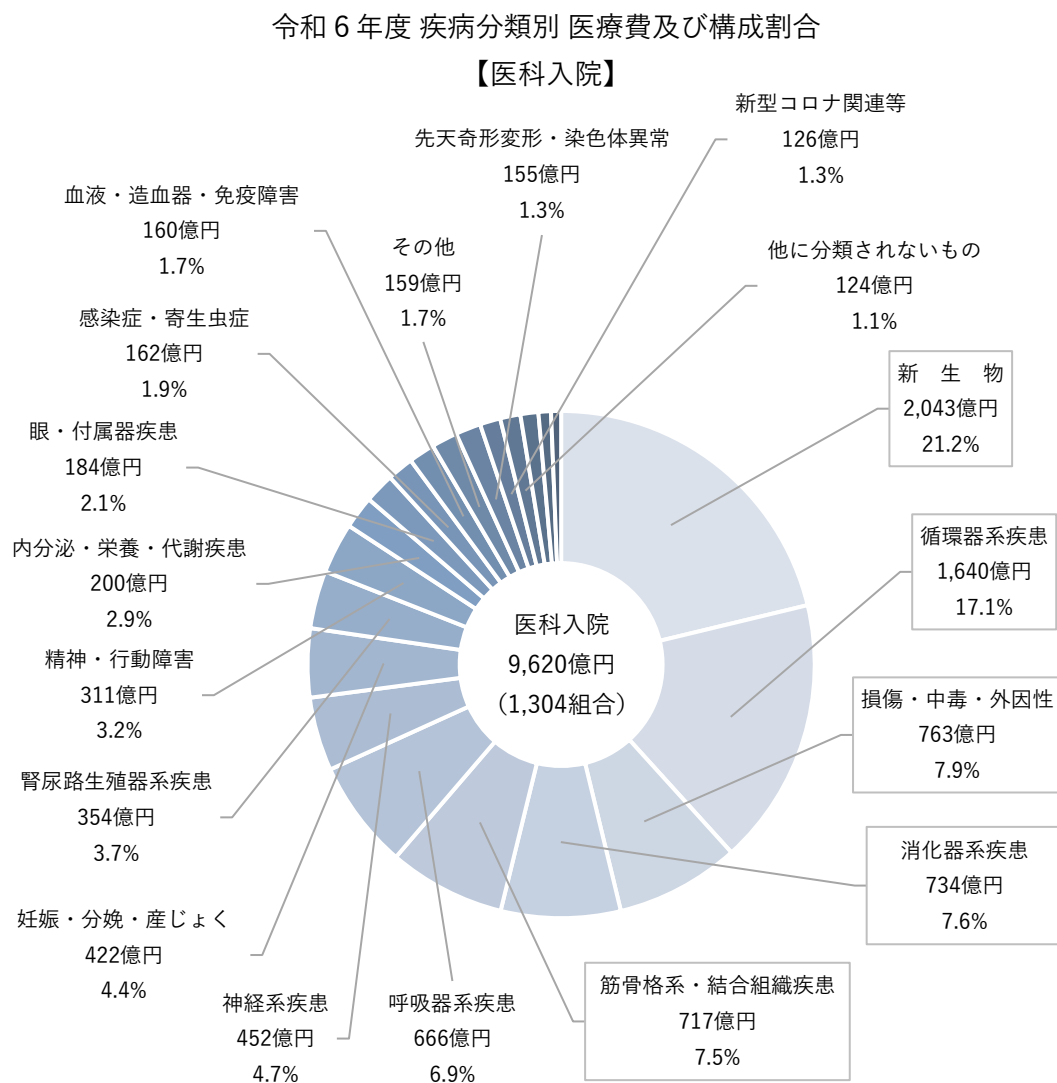
³ 6年度と5年度の両年度にわたりデータ提供のあった同一の1,283組合の数値をもとに算出している(以下、同じ)。

⁴ 1日当たり医療費の伸び率が減少したのは、令和5年10月からCOVID-19がインフルエンザと同じ5類感染症となり、診療報酬上の特例が段階的に廃止されていることの影響が大きい(以下、同じ)。

(2) 医科入院

1) 医療費及び構成割合

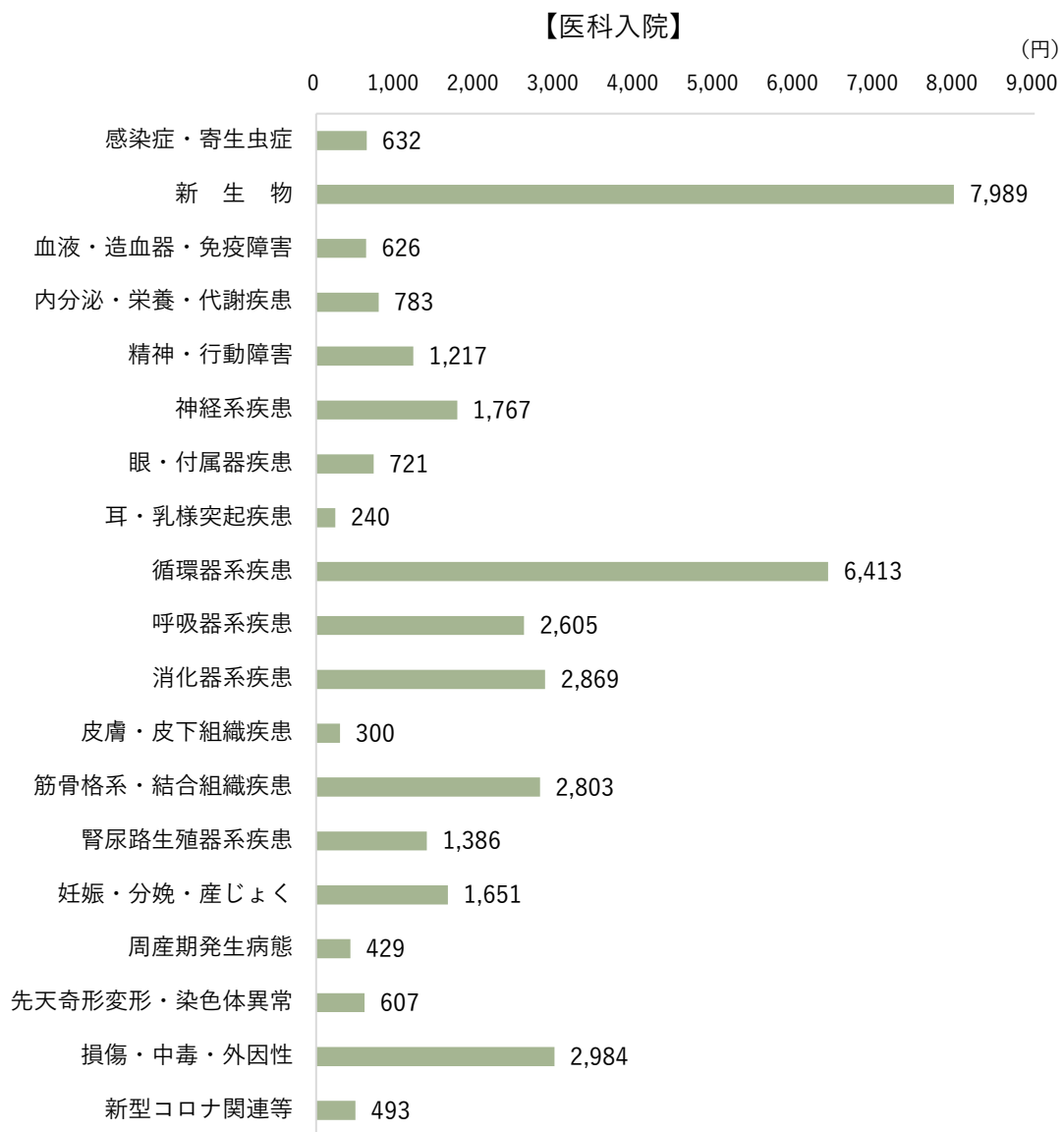
- 疾病分類別医療費をみると、①新生物：2,043 億円(割合 21.2%) が最も高く、次いで、②循環器系疾患：1,640 億円 (同 17.1%)、③損傷・中毒・外因性：763 億円 (同 7.9%)、④消化器系疾患：734 億円 (同 7.6%) ⑤筋骨格系・結合組織疾患：717 億円 (同 7.5%) となっている。



2) 加入者 1 人当たり医療費

- 加入者 1 人当たり医療費を高い順にみると、①新生物：7,989 円、②循環器系疾患：6,413 億円、③損傷・中毒・外因性：2,984 円、④消化器系疾患：2,869 円、⑤筋骨格系・結合組織疾患：2,803 円—となっている。
- 加入者 1 人当たり医療費が高い新生物と循環器系疾患について、医療費 3 要素分解を用いて比較すると（p.21）、循環器系疾患は新生物に比べ、1 件当たり日数が +2.76 日長い、新生物は循環器系疾患に比べ、受診率が +3.971 長く、さらに 1 日当たり医療費が +4,390 円高いため、加入者 1 人当たり医療費が高くなっている。

令和 6 年度 疾病分類別 加入者 1 人当たり医療費（円）



(参考) 令和 6 年度 疾病分類別 加入者 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素

医科入院				
疾病分類	1 人当たり医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1 件当たり日数 (日)	1 日当たり医療費 (円)
感染症・寄生虫症	632	1.446	7.61	57,435
新生物	7,989	10.460	7.79	98,024
血液・造血器・免疫障害	626	1.281	7.70	63,455
内分泌・栄養・代謝疾患	783	1.904	8.07	50,930
精神・行動障害	1,217	2.557	21.91	21,714
神経系疾患	1,767	3.561	10.66	46,555
眼・付属器疾患	721	1.735	4.31	96,295
耳・乳様突起疾患	240	0.518	5.29	87,378
循環器系疾患	6,413	6.489	10.55	93,634
呼吸器系疾患	2,605	5.846	6.90	64,522
消化器系疾患	2,869	7.856	5.63	64,880
皮膚・皮下組織疾患	300	0.799	7.72	48,639
筋骨格系・結合組織疾患	2,803	3.618	10.31	75,174
腎尿路生殖器系疾患	1,386	3.407	5.80	70,132
妊娠・分娩・産じょく	1,651	5.627	6.35	46,210
周産期発生病態	429	0.671	9.16	69,846
先天奇形変形・染色体異常	607	0.741	6.49	126,178
損傷・中毒・外因性	2,984	5.988	7.07	70,499
新型コロナ関連等	493	1.658	5.22	57,044

3) 加入者1人当たり医療費の対前年度伸び率：1,283 組合ベース

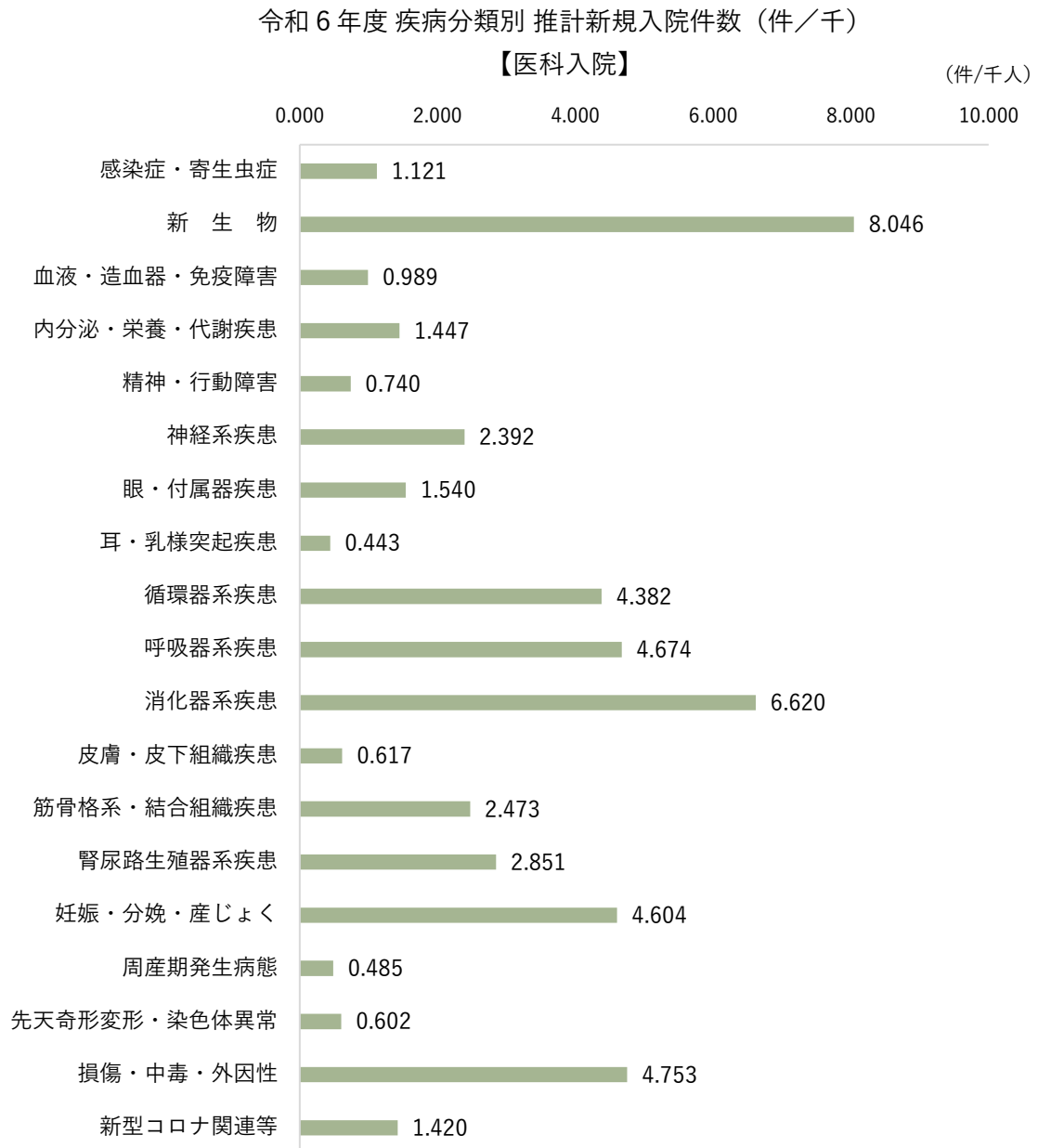
- 加入者1人当たり医療費の対前年度伸び率をみると、呼吸器系疾患が+18.9%と最も増加し、次いで、感染症・寄生虫症+16.4%、皮膚・皮下組織疾患+14.5%一の増加となっている。一方、新型コロナ関連等は▲50.3%と最も減少した。
- 呼吸器系疾患が伸びた要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は▲4.4%と減少したものの、1日当たり医療費が+3.1%、受診率が+20.8%と増加したことによる。
- また、新型コロナ関連等が最も減少した要因を医療費3要素分解からみると、1日当たり医療費は+7.9%と増加したものの、1件当たり日数が▲3.5%、受診率が▲52.2%と大きく減少したことによる。

令和6年度 医療費総額、加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度伸び率 (%)

医科入院					
疾病分類	医療費総額	加入者1人 当たり医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	15.4	16.4	17.1	▲5.0	4.6
新生物	3.5	4.5	2.7	▲0.6	2.4
血液・造血器・免疫障害	2.8	3.7	3.8	▲1.3	1.3
内分泌・栄養・代謝疾患	8.9	9.8	10.8	▲6.6	6.1
精神・行動障害	7.1	8.0	6.2	▲2.4	4.2
神経系疾患	8.8	9.7	8.1	▲3.0	4.7
眼・付属器疾患	3.4	4.3	2.3	▲0.9	2.8
耳・乳様突起疾患	4.9	5.7	8.3	▲5.0	2.9
循環器系疾患	2.6	3.5	1.7	▲1.1	2.8
呼吸器系疾患	17.9	18.9	20.8	▲4.4	3.1
消化器系疾患	3.4	4.3	1.6	0.5	2.1
皮膚・皮下組織疾患	13.7	14.5	11.3	▲1.2	4.2
筋骨格系・結合組織疾患	8.3	9.2	5.8	▲1.9	5.2
腎尿路生殖器系疾患	5.1	6.0	3.4	▲0.5	3.1
妊娠・分娩・産じょく	0.0	0.9	▲0.3	▲0.5	1.7
周産期発生病態	▲8.1	▲7.3	▲4.3	▲2.5	▲0.8
先天奇形変形・染色体異常	▲3.1	▲2.3	▲0.5	▲4.4	2.7
損傷・中毒・外因性	6.0	6.9	6.3	▲3.6	4.2
新型コロナ関連等	▲50.7	▲50.3	▲52.2	▲3.5	7.9

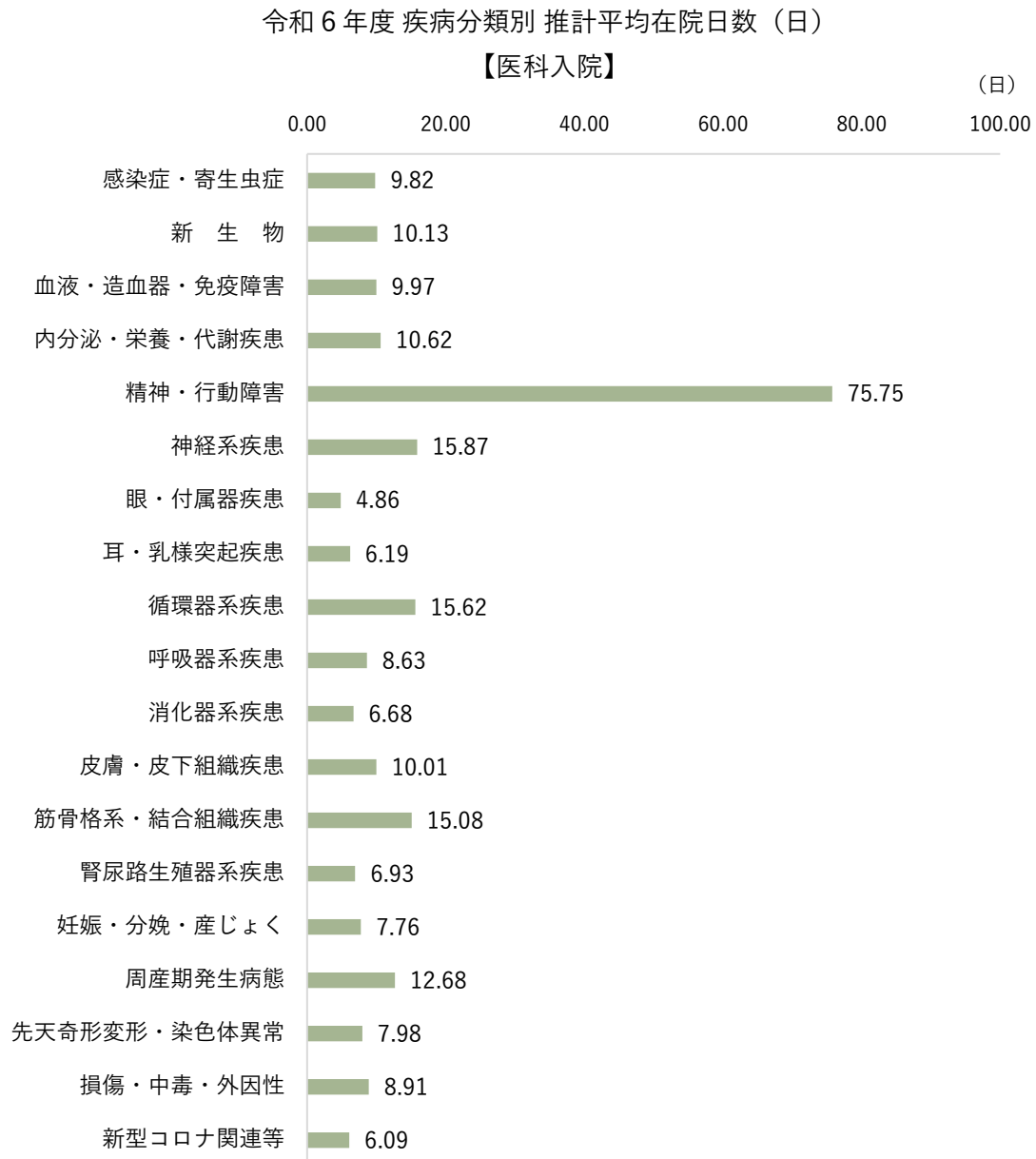
4) 加入者 1,000 人当たり推計新規入院件数

- 新生物が 8.046 件と最も高く、次いで、消化器系疾患：6.620 件、損傷・中毒・外因性：4.753 件、呼吸器系疾患：4.674 件—となっている。



5) 推計平均在院日数

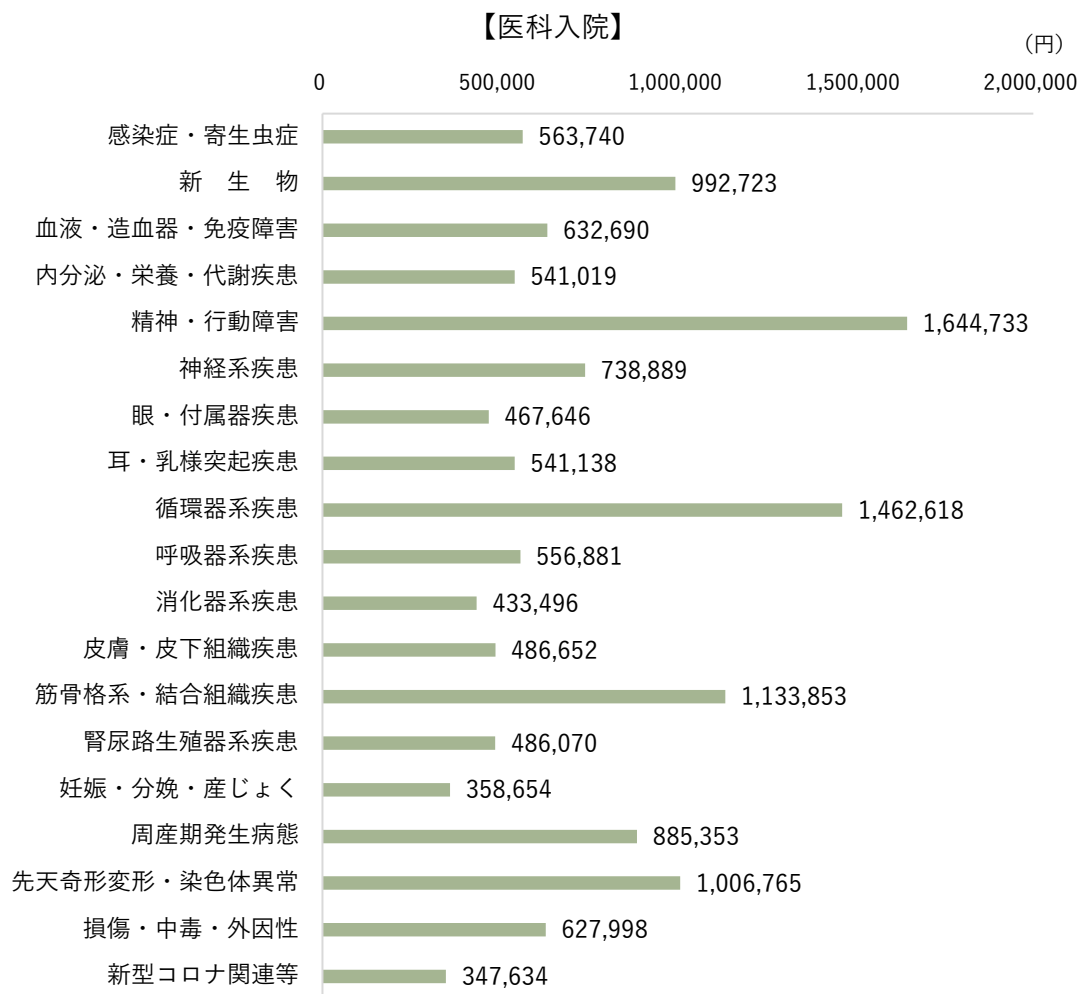
- 精神・行動障害が 75.75 日と最も高く、次いで、神経系疾患：15.87 日、循環器系疾患：15.62 日、筋骨格系・結合組織疾患：15.08 日となっている。



6) 推計1入院当たり医療費

- 精神・行動障害が164万4,733円と最も高く、次いで、循環器系疾患146万2,618円、筋骨格系・結合組織疾患113万3,853円となっている。
- 精神・行動障害の推計1入院当たり医療費が循環器系疾患と比べ高い要因を2要素分解⁵からみると、1日当たり医療費は▲7万1,920円低いものの、推計平均在院日数が+60.13日多いことが主な要因となっている。

令和6年度 疾病分類別 推計1入院当たり医療費（円）



（参考）推計1入院当たり医療費の2要素分解：推計平均在院日数及び1日当たり医療費

	推計平均在院日数	1日当たり医療費
精神・行動障害	75.75 日	21,714 円
循環器系疾患	15.62 日	93,634 円

⁵ 推計1入院当たり医療費＝推計平均在院日数×入院1日当たり医療費

（参考）入院医療費 3 要素分解⁶

令和 6 年度 推計新規入院件数及び推計平均在院日数、推計 1 入院当たり医療費

疾病分類	推計新規入院件数 (件／千)	推計平均在院日数 (日)	推計 1 入院当たり 医療費（円）
感染症・寄生虫症	1.121	9.82	563,740
新生物	8.046	10.13	992,723
血液・造血器・免疫障害	0.989	9.97	632,690
内分泌・栄養・代謝疾患	1.447	10.62	541,019
精神・行動障害	0.740	75.75	1,644,733
神経系疾患	2.392	15.87	738,889
眼・付属器疾患	1.540	4.86	467,646
耳・乳様突起疾患	0.443	6.19	541,138
循環器系疾患	4.382	15.62	1,462,618
呼吸器系疾患	4.674	8.63	556,881
消化器系疾患	6.620	6.68	433,496
皮膚・皮下組織疾患	0.617	10.01	486,652
筋骨格系・結合組織疾患	2.473	15.08	1,133,853
腎尿路生殖器系疾患	2.851	6.93	486,070
妊娠・分娩・産じょく	4.604	7.76	358,654
周産期発生病態	0.485	12.68	885,353
先天奇形変形・染色体異常	0.602	7.98	1,006,765
損傷・中毒・外因性	4.753	8.91	627,998
新型コロナ関連等	1.420	6.09	347,634

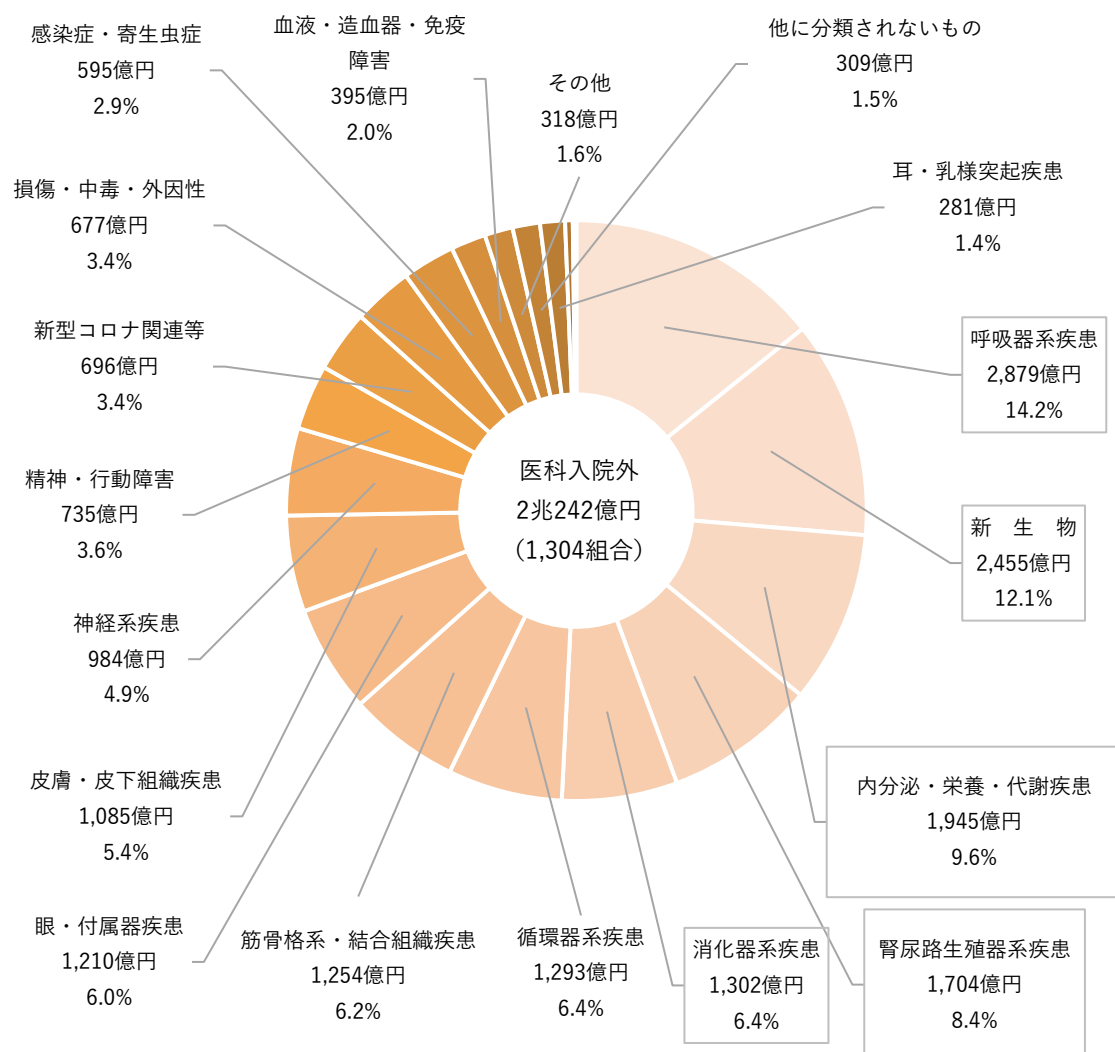
⁶ 入院医療費＝推計新規入院件数（入院発生）×推計平均在院日数（入院期間）×入院 1 日当たり医療費（入院単価）
詳細については、巻末 p.48「参考：入院医療費の 3 要素分解について」を参照のこと。

(3) 医科入院外（*調剤医療費を除く）

1) 医療費及び構成割合

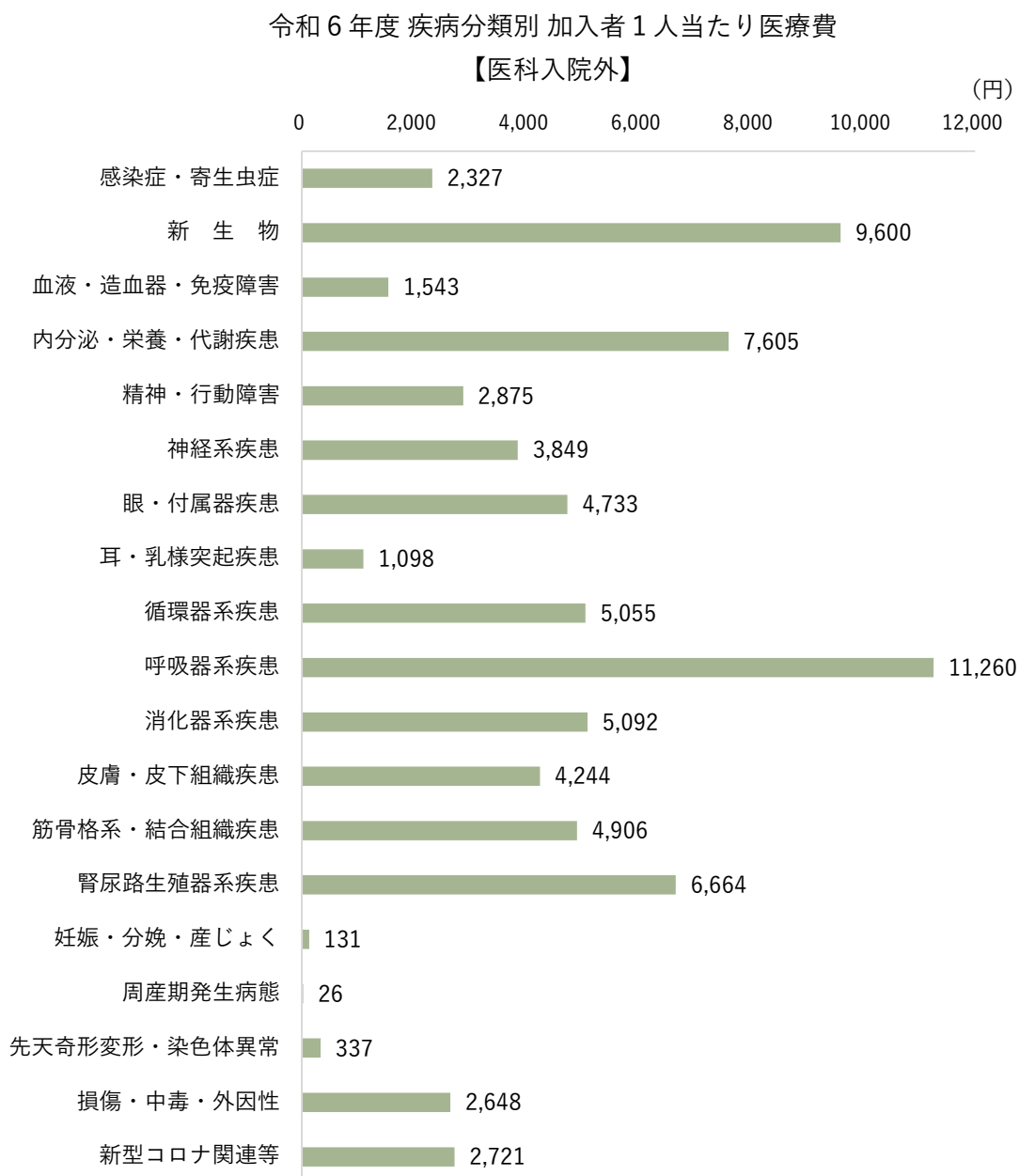
- 疾病分類別医療費をみると、①呼吸器系疾患 2,879 億円（構成割合 14.2%）が最も高く、次いで、②新生物 2,455 億円（同 12.1%）、③内分泌・栄養・代謝疾患 1,945 億円（同 9.6%）、④腎尿路生殖器系疾患 1,704 億円（同 8.4%）、⑤消化器系疾患 1,302 億円（同 6.4%） — となっている。

令和 6 年度 疾病分類別 医療費及び構成割合
【医科入院外】



2) 加入者1人当たり医療費

- 加入者1人当たり医療費を高い順にみると、①呼吸器系疾患：1万1,260円、②新生物：9,600円、③内分泌・栄養・代謝疾患：7,605円、④腎尿路生殖器系疾患：6,664円、⑤消化器系疾患：5,092円—となっている。
- 加入者1人当たり医療費が高い呼吸器系疾患と新生物について、医療費3要素分解を用いて比較すると（p.29）、新生物は呼吸器系疾患に比べ、1件当たり日数が+0.09日長く、1日当たり医療費が+2万1,699円高いものの、呼吸器系疾患は新生物に比べ、受診率が+1,197.757高いため、加入者1人当たり医療費は高くなっている。



(参考) 令和 6 年度 疾病分類別 加入者 1 人当たり医療費及び医療費 3 要素

医科入院外

疾病分類	1 人当たり医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1 件当たり日数 (日)	1 日当たり医療費 (円)
感染症・寄生虫症	2,327	254.011	1.42	6,440
新生物	9,600	246.761	1.41	27,609
血液・造血器・免疫障害	1,543	29.310	1.37	38,462
内分泌・栄養・代謝疾患	7,605	521.018	1.16	12,572
精神・行動障害	2,875	338.871	1.38	6,150
神経系疾患	3,849	242.428	1.30	12,235
眼・付属器疾患	4,733	596.064	1.13	7,055
耳・乳様突起疾患	1,098	128.760	1.39	6,117
循環器系疾患	5,055	473.724	1.15	9,305
呼吸器系疾患	11,260	1,444.518	1.32	5,910
消化器系疾患	5,092	305.743	1.27	13,115
皮膚・皮下組織疾患	4,244	693.716	1.22	5,019
筋骨格系・結合組織疾患	4,906	399.155	1.96	6,272
腎尿路生殖器系疾患	6,664	276.297	1.67	14,423
妊娠・分娩・産じょく	131	12.076	1.67	6,485
周産期発生病態	26	1.302	1.50	13,452
先天奇形変形・染色体異常	337	12.713	1.22	21,764
損傷・中毒・外因性	2,648	203.020	1.91	6,843
新型コロナ関連等	2,721	254.040	1.20	8,938

3) 加入者1人当たり医療費の対前年度伸び率：1,283 組合ベース

- 加入者1人当たり医療費の対前年度伸び率を高い順にみると、神経系疾患が+11.0%と最も増加し、次いで、呼吸器系疾患+9.5%、循環器系疾患+8.1%—の増加となっている。一方、新型コロナ関連等は▲61.2%と最も減少した。
- 神経系疾患が大きく伸びた要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は0.0%と増減が見られなかったものの、受診率が+4.8%、1日当たり医療費が+6.4%と大きく増加したことによる。
- また、新型コロナ関連等が大きく減少した要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数が▲9.1%減少、1日当たり医療費が▲19.4%減少し、さらに受診率が▲47.1%と大きく減少したことによる。

令和6年度 医療費総額、加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度伸び率(%)

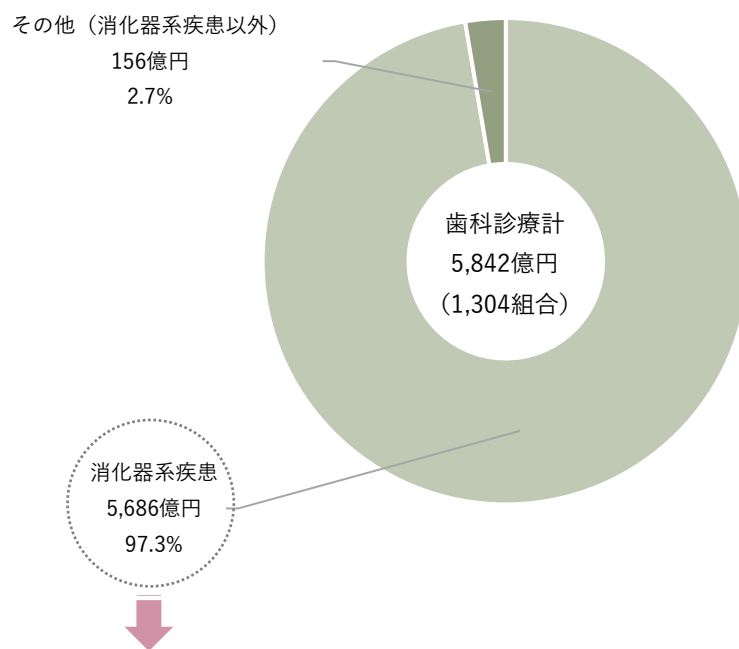
医科入院外					
疾病分類	医療費総額	加入者1人 当たり医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	5.8	6.7	8.7	▲1.4	▲0.9
新生物	1.3	2.2	3.5	▲0.7	▲0.6
血液・造血器・免疫障害	6.8	7.7	3.8	▲0.7	4.3
内分泌・栄養・代謝疾患	▲3.7	▲2.8	▲6.6	▲0.9	4.8
精神・行動障害	3.3	4.2	6.7	▲0.7	▲1.4
神経系疾患	10.0	11.0	4.8	0.0	6.4
眼・付属器疾患	2.2	3.1	2.0	0.0	1.1
耳・乳様突起疾患	1.6	2.6	2.9	▲0.7	▲0.2
循環器系疾患	7.1	8.1	9.9	0.0	▲1.3
呼吸器系疾患	8.6	9.5	13.2	1.5	▲4.7
消化器系疾患	2.4	3.3	3.8	0.0	▲0.8
皮膚・皮下組織疾患	3.9	4.8	2.5	0.0	2.2
筋骨格系・結合組織疾患	2.4	3.4	3.3	▲1.5	1.5
腎尿路生殖器系疾患	1.4	2.3	6.1	▲0.6	▲3.2
妊娠・分娩・産じょく	▲3.9	▲3.0	▲4.2	▲1.2	2.3
周産期発生病態	1.7	0.0	▲4.4	0.0	7.8
先天奇形変形・染色体異常	3.8	5.0	2.7	0.0	2.3
損傷・中毒・外因性	6.4	7.4	5.3	0.0	2.3
新型コロナ関連等	▲61.6	▲61.2	▲47.1	▲9.1	▲19.4

（４）歯科診療計

１）医療費及び構成割合

- 歯科診療計について疾病分類別医療費をみると、①消化器系疾患：5,686 億円（構成割合 97.3%）、②その他（消化器系疾患以外）：156 億円（同 2.7%）—となっている。
- なお、消化器系疾患の 119 分類別医療費をみると、①歯肉炎・歯周疾患：4,806 億円（構成割合 84.5%）が最も高く、次いで、②歯・歯の支持組織障害：436 億円（同 7.7%）、③う蝕：419 億円（同 7.4%）、④その他：25 億円（同 0.4%）となっており、歯科３疾患で歯科診療費全体の 99.6%を占める。

令和 6 年度 疾病分類別（歯科）医療費及び構成割合
【歯科診療計】

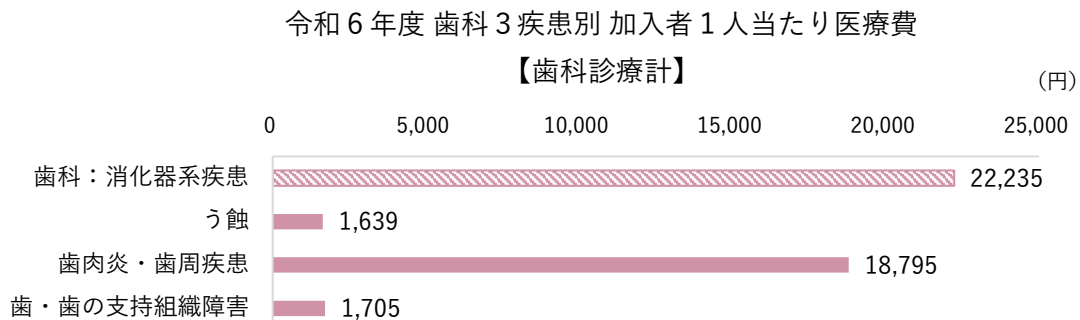
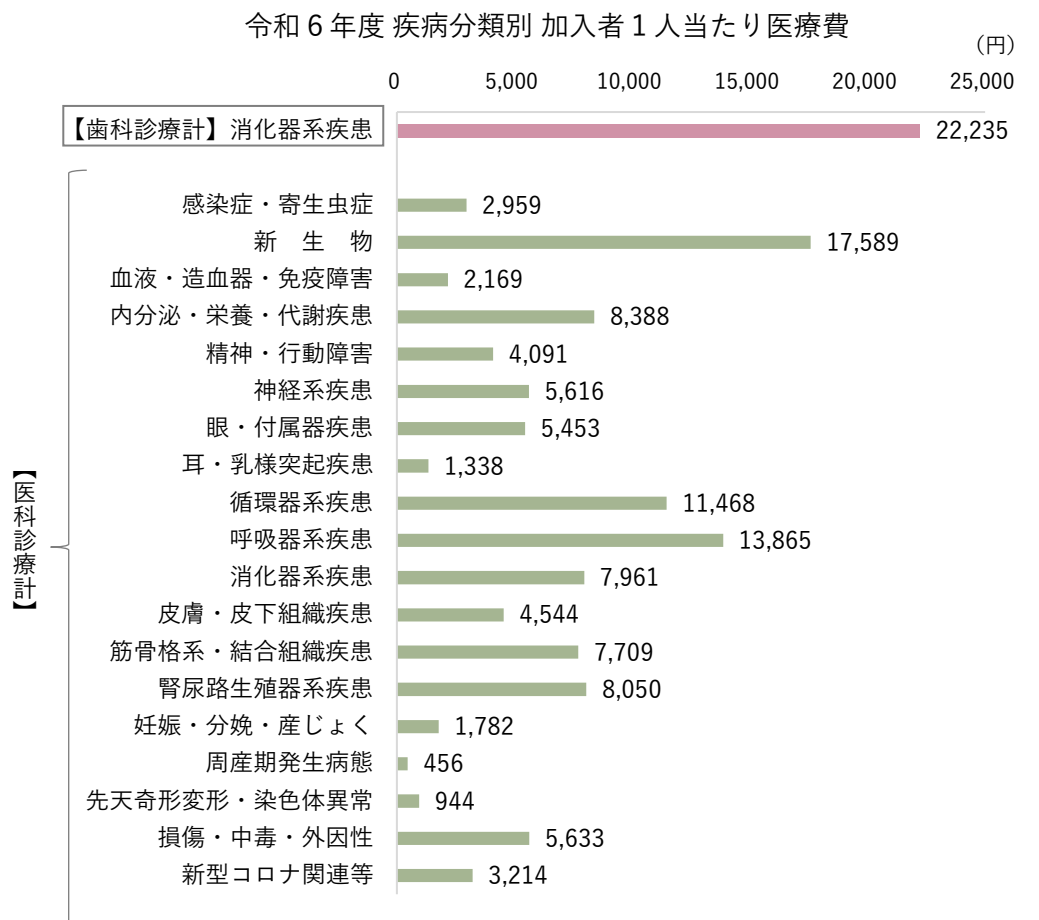


歯科診療計：消化器系疾患

	医療費総額	構成割合
う蝕	419	7.4%
歯肉炎・歯周疾患	4,806	84.5%
歯・歯の支持組織障害	436	7.7%
その他	25	0.4%
計	5,686	100.0%

2) 加入者1人当たり医療費

- 歯科診療計：消化器系疾患（以下、「歯科」という。）の加入者1人当たり医療費は2万2,235円となっており、医科・歯科計でみると、「歯科」が最も高く、次いで、新生物：1万7,589円、呼吸器系疾患：1万3,865円となっている。
- 歯科が高い要因について、医療費3要素分解から新生物と比較すると（p.33）、新生物に比べ、歯科では1件当たり日数は▲0.24日短く、1日当たり医療費は▲3万2,521円低いが、受診率が+1,586.257高いことによる。
- なお、歯科3疾患別の加入者1人当たり医療費をみると、歯肉炎・歯周疾患：1万8,795円が最も高く、次いで、歯・歯の支持組織の障害：1,705円、う蝕：1,639円となっている。



3) 加入者1人当たり医療費の対前年度伸び率：1,283 組合ベース

- 加入者1人当たり医療費の対前年度伸び率は+5.2%となっており、その要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は▲2.1%減少したものの、受診率が+3.9%と大きく増加し、さらに1日当たり医療費が+3.5%増加したことによる。
- また、歯科3疾患では、歯肉炎・歯周疾患が+5.6%と大きく増加しており、その要因を医療費3要素分解からみると、1件当たり日数は▲2.1%減少しているが、受診率が+4.5%と大きく増加し、さらに、1日当たり医療費が+3.4%増加したことによる。

令和6年度 医療費総額、加入者1人当たり医療費及び医療費3要素 対前年度伸び率 (%)

歯科診療計

疾病分類	医療費総額	加入者1人 当たり医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
消化器系疾患	4.3	5.2	3.9	▲2.1	3.5
う蝕	0.6	1.5	▲0.8	▲0.7	3.1
歯肉炎・歯周疾患	4.7	5.6	4.5	▲2.1	3.4
歯・歯の支持組織障害	3.1	4.0	1.3	▲1.7	4.8

令和6年度 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

歯科診療計

疾病分類	加入者1人当たり 医療費 (円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数 (日)	1日当たり 医療費 (円)
消化器系疾患	22,235	1,843.478	1.43	8,459
う蝕	1,639	151.939	1.37	7,883
歯肉炎・歯周疾患	18,795	1576.901	1.41	8,466
歯・歯の支持組織障害	1,705	106.738	1.78	8,981
(参考) 医科診療計：新生物	17,589	257.221	1.67	40,980

Ⅱ. 疾病分類別推計受診者数（年度平均）⁷

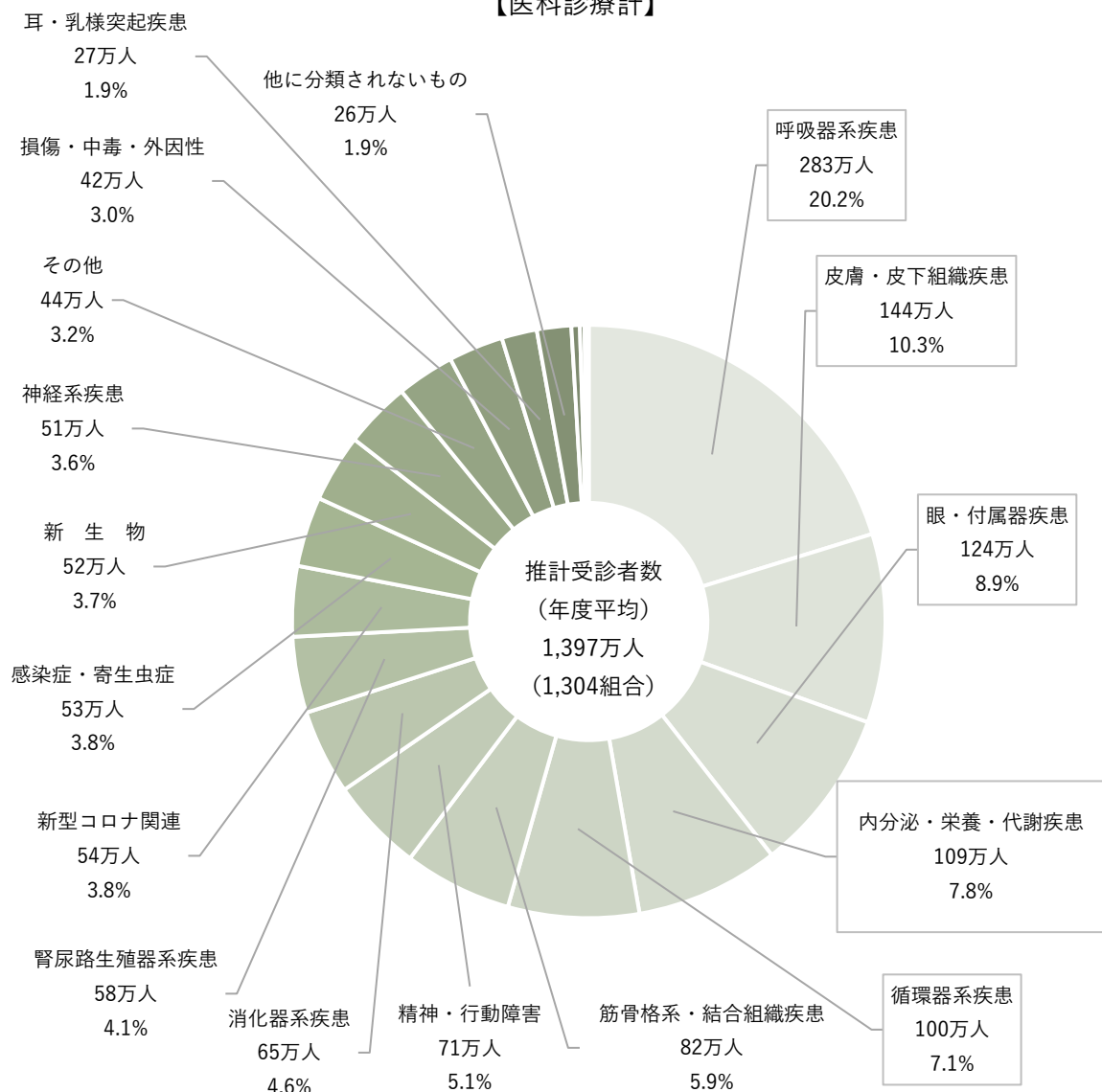
（１）医科診療計

１）推計受診者数（年度平均）及び構成割合

- 疾病分類別推計受診者数（年度平均）をみると、①呼吸器系疾患：283 万人（構成割合 20.2%）、②皮膚・皮下組織疾患：144 万人（同 10.3%）、③眼・付属器疾患：124 万人（同 8.9%）、④内分泌・栄養・代謝疾患：109 万人（同 7.8%）、⑤循環器系疾患：100 万人（同 7.1%） — となっている。

令和 6 年度 疾病分類別 推計受診者数（年度平均）及び構成割合

【医科診療計】



注）推計受診者数割合が 1.0%未満の疾病については、グラフ中の表示を省略している（以下、同じ）。

⁷ 当該年度の各月の受診者数の和を 12 で除したもの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を 12 で除した推計値を用いている。

(参考) 疾病分類別推計受診者数 構成割合：前年度との比較

医科診療計		
疾病分類	構成割合 (%)	
	令和 6 年度 (1,304 組合)	令和 5 年度 (1,310 組合)
感染症・寄生虫症	3.8	3.6
新生物	3.7	3.6
血液・造血器・免疫障害	0.5	0.5
内分泌・栄養・代謝疾患	7.8	8.4
精神・行動障害	5.1	4.9
神経系疾患	3.6	3.5
眼・付属器疾患	8.9	8.8
耳・乳様突起疾患	1.9	1.9
循環器系疾患	7.1	6.5
呼吸器系疾患	20.2	18.4
消化器系疾患	4.6	4.5
皮膚・皮下組織疾患	10.3	10.2
筋骨格系・結合組織疾患	5.9	5.7
腎尿路生殖器系疾患	4.1	4.0
妊娠・分娩・産じょく	0.2	0.3
周産期発生病態	0.0	0.0
先天奇形変形・染色体異常	0.2	0.2
他に分類されないもの	1.9	1.7
損傷・中毒・外因性	3.0	2.9
新型コロナ関連等	3.8	7.3
その他	3.2	3.0

注 1) 「他に分類されないもの」とは、「XVIII：症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)」である。

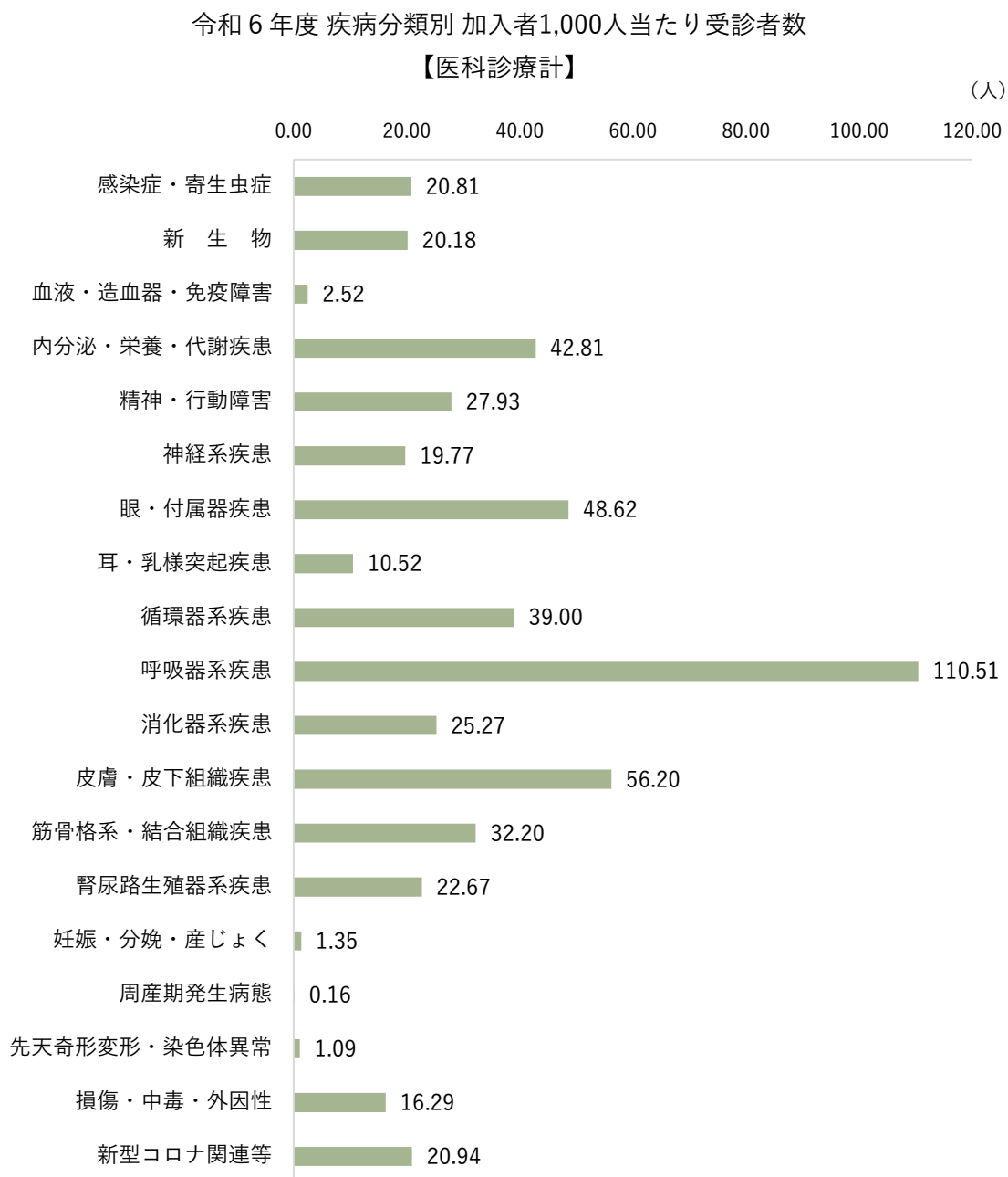
注 2) 「新型コロナ関連等」は、新型コロナウイルス (COVID-19) が疾病分類上、「XXII：特殊目的用コード (U00-99)」に分類されているため、本調査では便宜上、名称を「新型コロナ関連等」と置き換えている。

注 3) 「その他」とは、「XXI：健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)」のほか、ワープロ病名・不詳等である。

注 4) なお、加入者 1,000 人当たり受診者数 (別掲「グラフ」) については、便宜上、「他に分類されるもの」及び「その他」を省略している。

2) 加入者 1,000 人当たり受診者数⁸

- 加入者 1,000 人当たり受診者数を上位順にみると、①呼吸器系疾患：110.51 人、②皮膚・皮下組織疾患：56.20 人、③眼・付属器疾患：48.62 人、④内分泌・栄養・代謝疾患：42.81 人、⑤循環器系疾患：39.00 人—となっている。

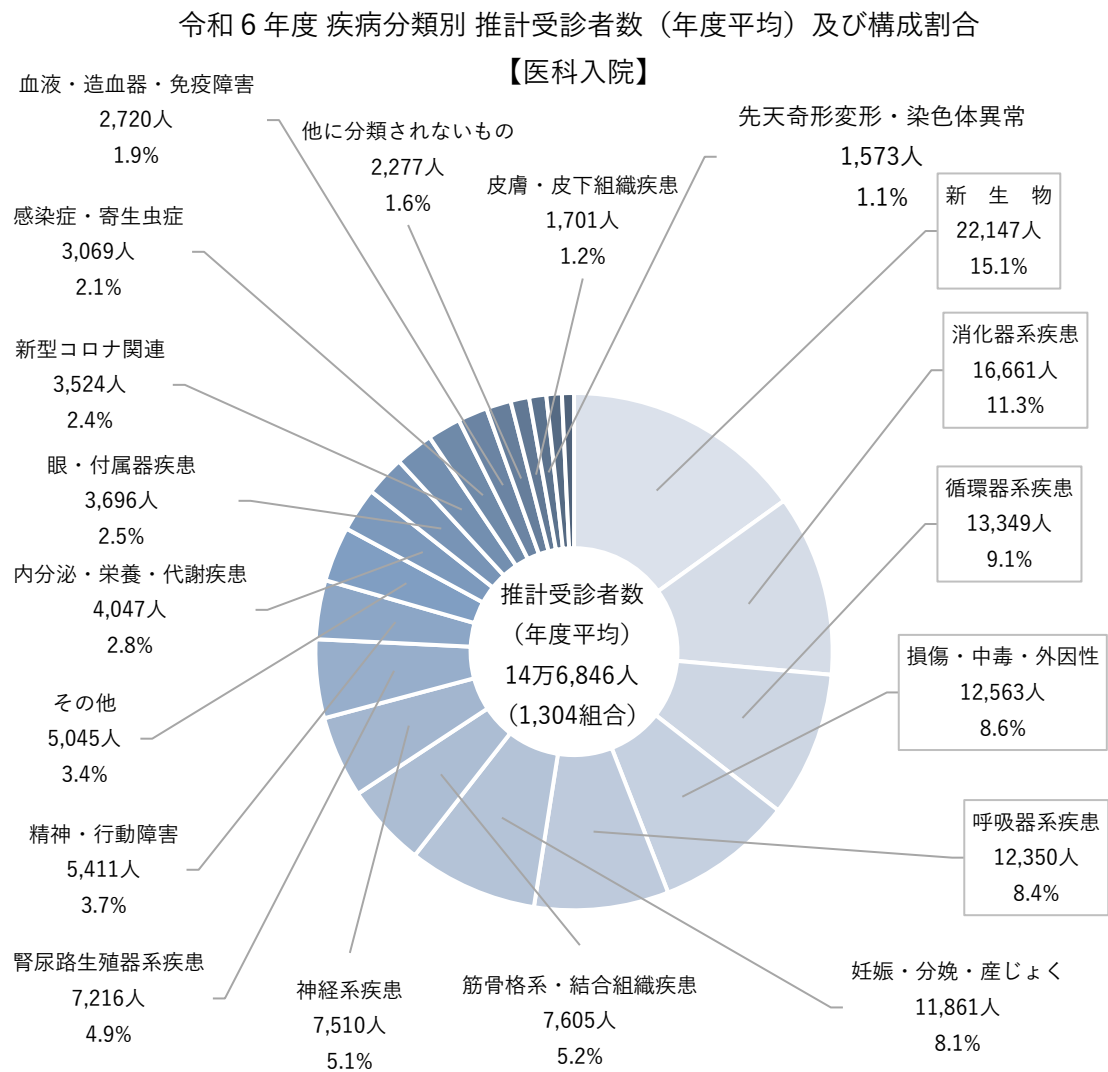


⁸ 当該年度の平均推計受診者数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除し、1,000 倍したものである。

(2) 医科入院

1) 推計受診者数及び構成割合

- 疾病分類別推計受診者数（年度平均）をみると、①新生物：2万2,147人（構成割合15.1%）、②消化器系疾患：1万6,661人（同11.3%）、③循環器系疾患：1万3,349人（同9.1%）、④損傷・中毒・外因性：1万2,563人（同8.6%）、⑤呼吸器系疾患：1万2,350人（同8.4%） — となっている。

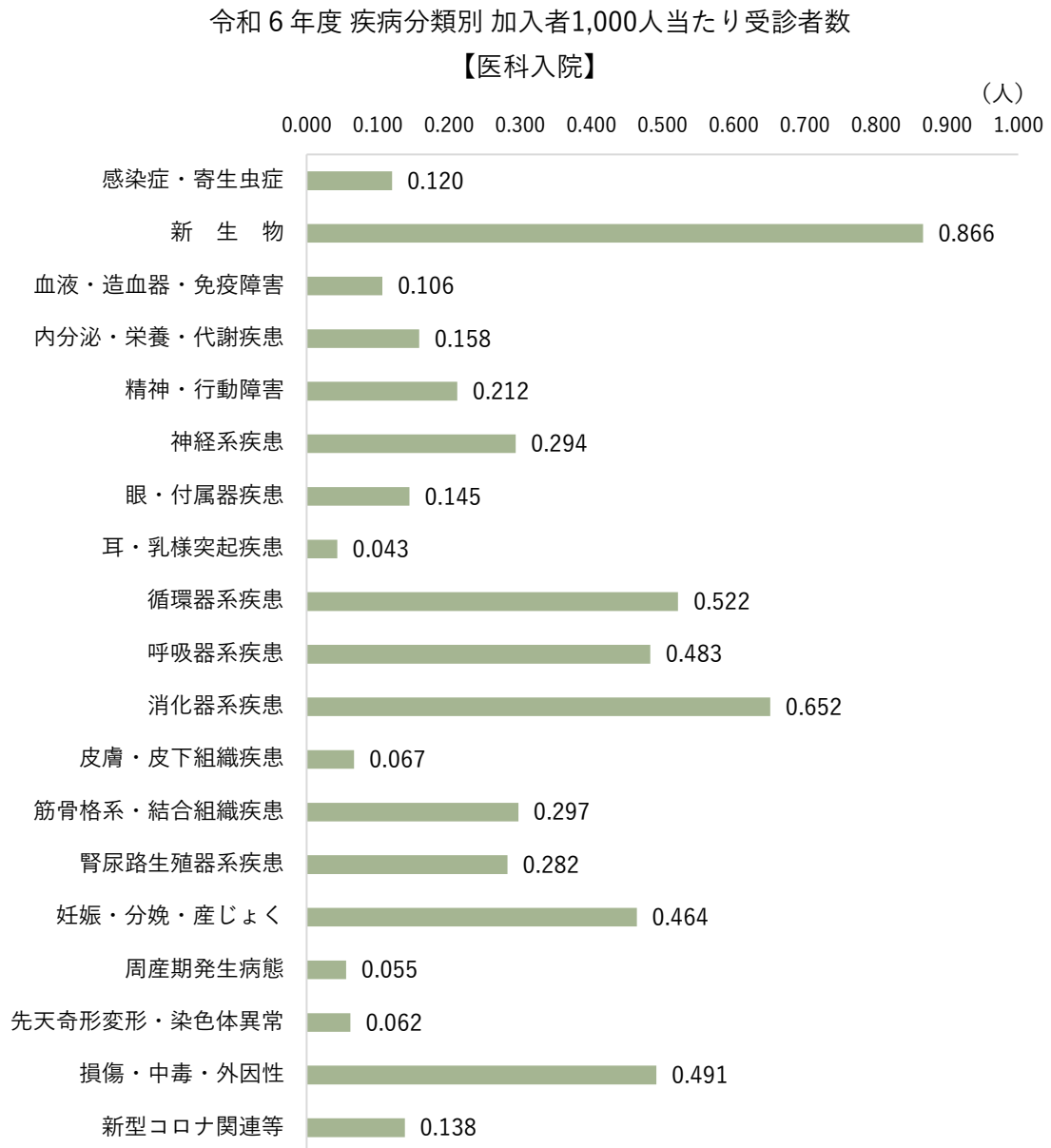


(参考) 疾病分類別 推計受診者数 構成割合：前年度との比較

医科入院		
疾病分類	構成割合 (%)	
	令和 6 年度 (1,304 組合)	令和 5 年度 (1,310 組合)
感染症・寄生虫症	2.1	1.8
新生物	15.1	15.0
血液・造血器・免疫障害	1.9	1.8
内分泌・栄養・代謝疾患	2.8	2.5
精神・行動障害	3.7	3.5
神経系疾患	5.1	4.8
眼・付属器疾患	2.5	2.5
耳・乳様突起疾患	0.8	0.7
循環器系疾患	9.1	9.1
呼吸器系疾患	8.4	7.1
消化器系疾患	11.3	11.4
皮膚・皮下組織疾患	1.2	1.1
筋骨格系・結合組織疾患	5.2	5.0
腎尿路生殖器系疾患	4.9	4.9
妊娠・分娩・産じょく	8.1	8.4
周産期発生病態	1.0	1.0
先天奇形変形・染色体異常	1.1	1.1
他に分類されないもの	1.6	1.5
損傷・中毒・外因性	8.6	8.2
新型コロナ関連等	2.4	5.2
その他	3.4	3.2

2) 加入者 1,000 人当たり受診者数

- 加入者 1,000 人当たり受診者数を上位順にみると、①新生物：0.866 人、②消化器系疾患：0.652 人、③循環器系疾患：0.522 人、④損傷・中毒・外因性：0.491 人、⑤呼吸器系疾患：0.483 人—となっている。



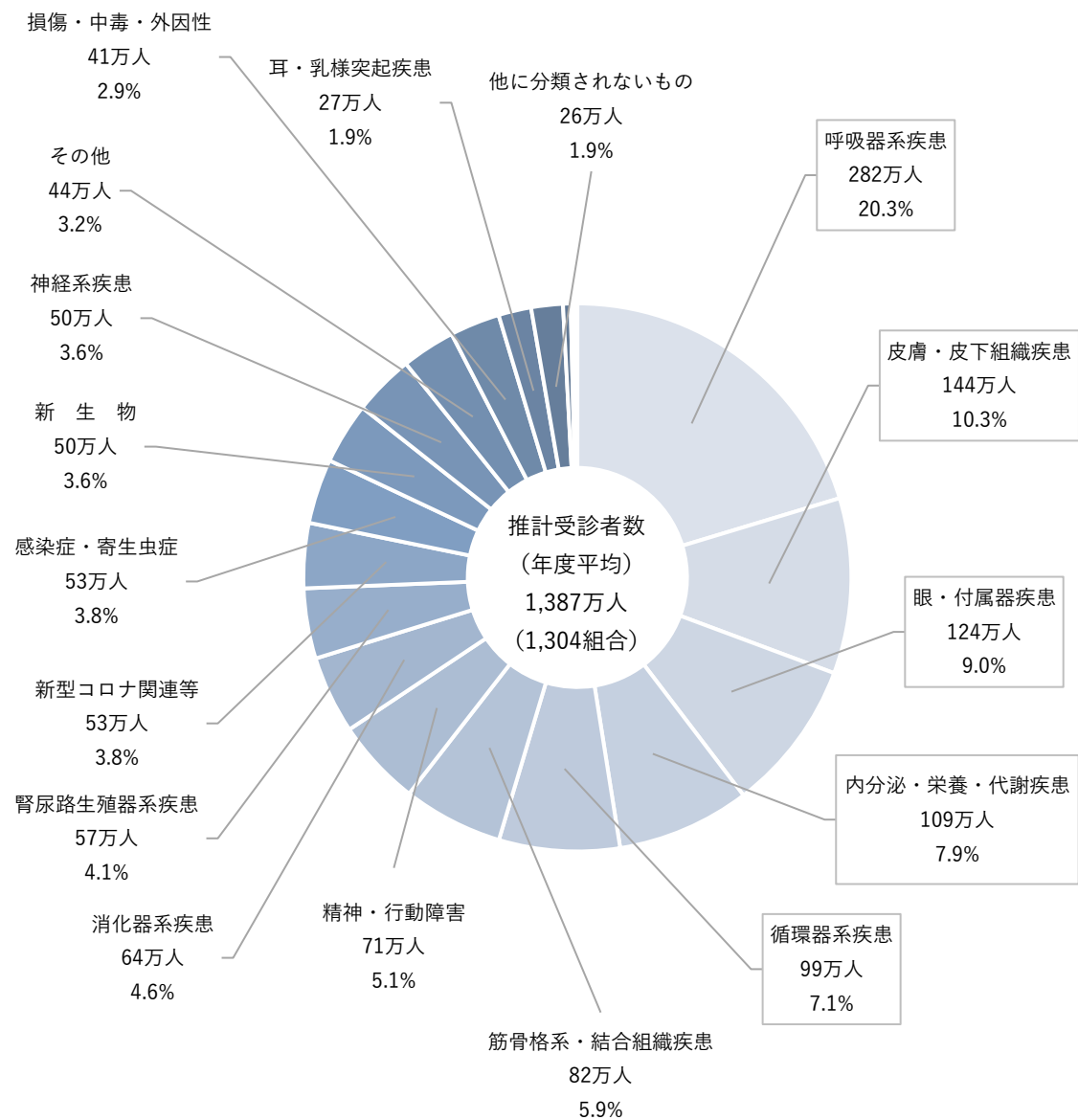
(3) 医科入院外

1) 推計受診者数及び構成割合

- 疾病分類別推計受診者数（年度平均）をみると、①呼吸器系疾患：282 万人（構成割合 20.3%）、②皮膚・皮下組織疾患：144 万人（同 10.3%）、③眼・付属器疾患：124 万人（同 9.0%）、④内分泌・栄養・代謝疾患：109 万人（同 7.9%）、⑤循環器系疾患：99 万人（同 7.1%） — となっている。

令和 6 年度 疾病分類別 推計受診者数及び構成割合

【医科入院外】



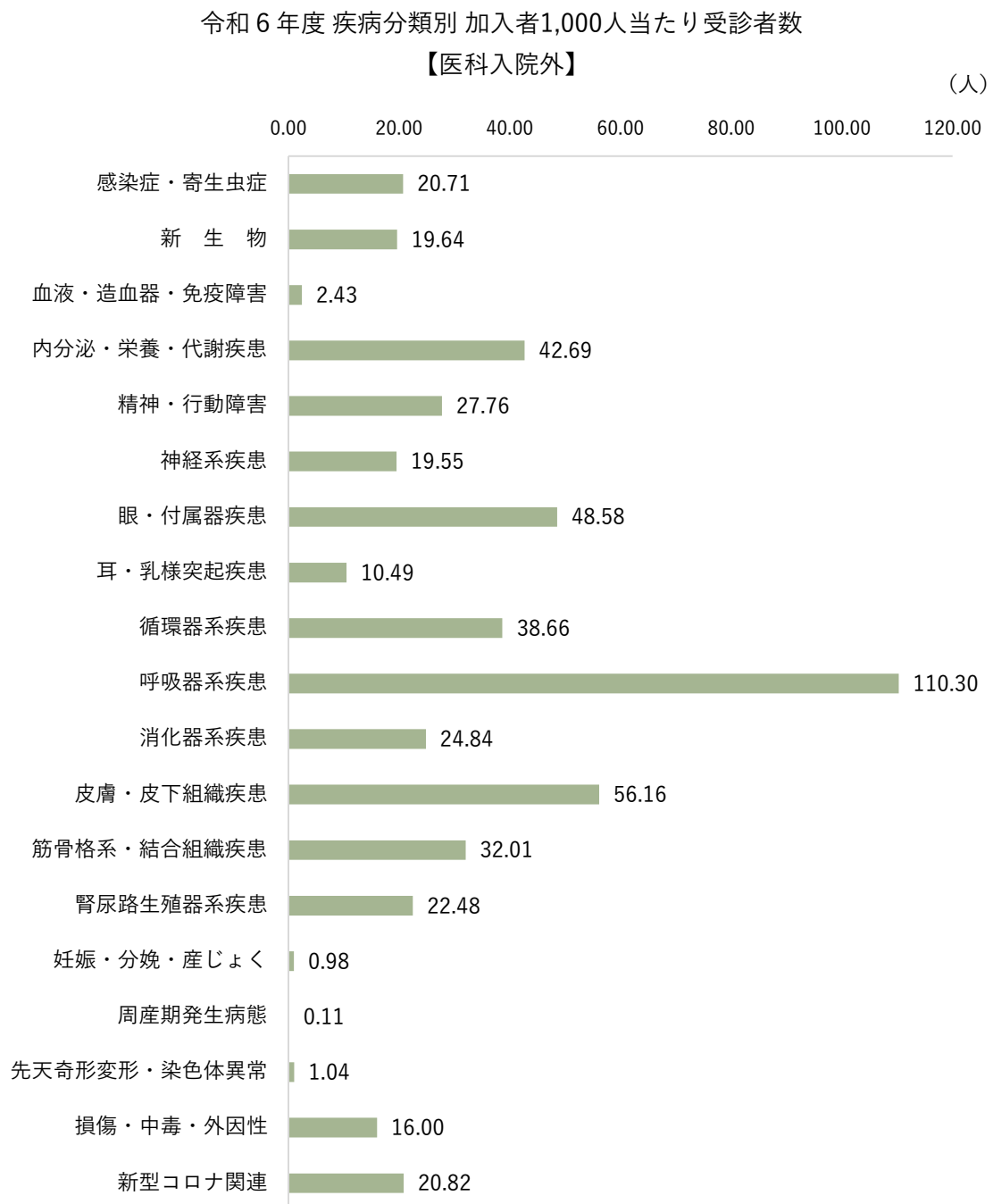
(参考) 疾病分類別 推計受診者数 構成割合：前年度との比較

医科入院外

疾病分類	構成割合 (%)	
	令和 6 年度 (1,304 組合)	令和 5 年度 (1,310 組合)
感染症・寄生虫症	3.8	3.6
新生物	3.6	3.5
血液・造血器・免疫障害	0.4	0.4
内分泌・栄養・代謝疾患	7.9	8.5
精神・行動障害	5.1	4.9
神経系疾患	3.6	3.5
眼・付属器疾患	9.0	8.9
耳・乳様突起疾患	1.9	1.9
循環器系疾患	7.1	6.5
呼吸器系疾患	20.3	18.5
消化器系疾患	4.6	4.5
皮膚・皮下組織疾患	10.3	10.3
筋骨格系・結合組織疾患	5.9	5.8
腎尿路生殖器系疾患	4.1	4.0
妊娠・分娩・産じょく	0.2	0.2
周産期発生病態	0.0	0.0
先天奇形変形・染色体異常	0.2	0.2
他に分類されないもの	1.9	1.7
損傷・中毒・外因性	2.9	2.8
新型コロナ関連等	3.8	7.3
その他	3.2	3.0

2) 加入者 1,000 人当たり受診者数

- 加入者 1,000 人当たり受診者数を上位順にみると、①呼吸器系疾患：110.30 人、②皮膚・皮下組織疾患：56.16 人、③眼・付属器疾患：48.58 人、④内分泌・栄養・代謝疾患：42.69 人、⑤循環器系疾患：38.66 人—となっている。



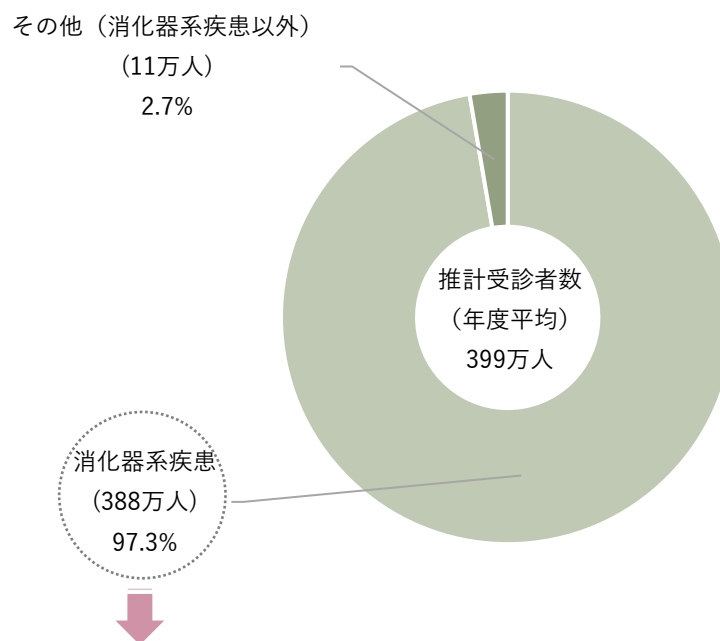
(4) 歯科診療計

1) 推計受診者数（年度平均）及び構成割合

- 疾病分類別推計受診者数をみると、①消化器系疾患：388 万人（構成割合 97.3%）、②その他（消化器系疾患以外）：11 万人（同 2.7%） — となっている。
- なお、消化器系疾患の 119 分類別受診者数をみると、①歯肉炎・歯周疾患：334 万人（構成割合 85.6%）が最も高く、次いで、②う蝕：32 万人（同 8.3%）、③歯・歯の支持組織障害：22 万人（同 5.7%）、④その他：2 万人（同 0.4%） — となっている。

令和 6 年度 疾病分類別 推計受診者数（年度平均）

【歯科診療計】



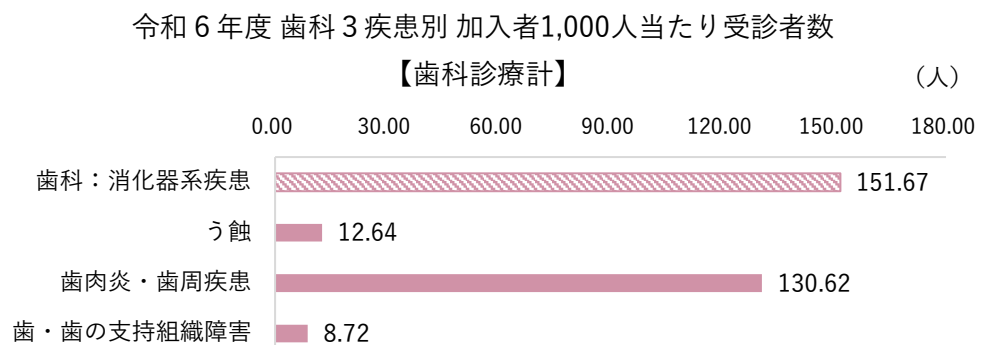
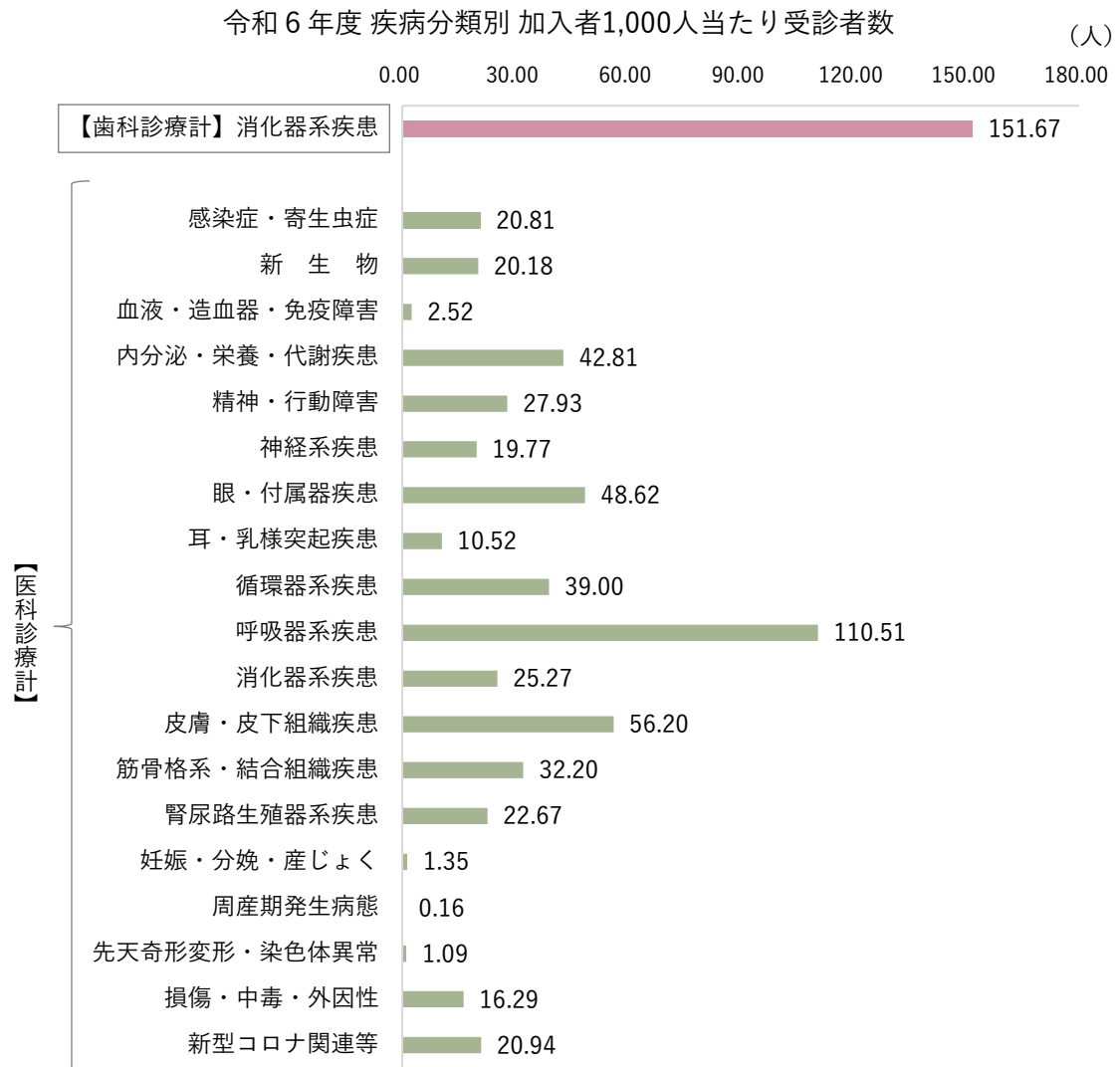
歯科診療計：消化器系疾患

	推計受診者数（年度平均） （万人）	加入者 1,000 人当たり 受診者数（人）
歯科：消化器系疾患	388	151.7
う蝕	32	12.6
歯肉炎・歯周疾患	334	130.6
歯・歯の支持組織障害	22	8.7
その他	2	0.6

注）端数処理の関係上、合計が一致しない。

2) 加入者 1,000 人当たり受診者数

- 歯科診療計：消化器系疾患（以下、「歯科」という）の加入者 1,000 人当たり受診者数は 151.67 人となっており、医科・歯科計でみると、「歯科」が最も多く、次いで、呼吸器系疾患：110.51 人、皮膚・皮下組織疾患：56.20 人となっている。



1. 本調査における留意点

第1部：医療費の概況

- 社会保険診療報酬支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」をもとに、健保組合全件分（1,378 組合）のデータを集計したものである。電算処理レセプトのほか、紙媒体レセプトを含め、全レセプトを対象とした再審査分等調整後の確定ベースの数値である。医療費総額には、医科・歯科・調剤費のほか、入院時食事・生活医療費⁹及び訪問看護医療費¹⁰の費用額が含まれている。
- 加入者数については、便宜上、本会実施の「年齢階級別加入者数調査」による 6 年 10 月末現在の加入者数を用いている。

対象レセプトの件数：支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」

		総計（本人＋家族＋高齢者）				前期高齢者 （65-74 歳） （再掲）
		本人	家族	未就学児 （再掲）	高齢者 （70-74 歳）	
医科計	194,295,984	105,019,959	84,999,197	20,393,569	4,276,828	12,256,667
入院	2,167,939	1,164,291	915,098	309,991	88,550	217,219
入院外	192,128,045	103,855,668	84,084,099	20,083,578	4,188,278	12,039,448
歯科計	54,193,652	31,495,418	21,716,221	2,875,076	982,013	2,987,412
調剤	131,464,102	69,808,799	58,787,343	15,249,151	2,867,960	8,208,106
総計	379,953,738	206,324,176	165,502,761	38,517,796	8,126,801	23,452,185

加入者数（各年 10 月末現在）：健保連「年齢階級別加入者数調査」

	令和 6 年（10 月末）	令和 5 年（10 月末）	対前年同月 伸び率
総計	27,994,149	28,102,196	-0.4%
本人	16,732,051	16,522,262	1.3%
家族	10,933,851	11,235,677	-2.7%
（再掲）未就学児	1,859,200	1,928,903	-3.6%
高齢者（70-74 歳）	328,247	344,257	-4.7%
（再掲）前期高齢者（65-74 歳）	1,038,572	1,018,793	1.9%

注）本人・家族は 70 歳未満の加入者数である。

⁹ 入院時食事・生活医療費とは、入院時食事療養費、食事療養標準負担額、入院時生活療養費及び生活療養標準負担額の合計額である。

¹⁰ 訪問看護医療費とは、訪問看護療養費及び基本利用料の合計額である。

第2部：疾病分類別医療費の概況

（1）調査対象の組合数及びレセプトデータ

本会へデータ提供のあった1,304組合の医科・歯科の電算処理レセプトデータを集計したものである。調剤医療費のほか、紙レセプト、入院時食事・生活医療費及び訪問看護医療費は含まれていない。また、対前年度伸び率は1,304組合のうち、6年度と5年度の両年度にわたりデータ提供のあった同一の1,283組合の数値をもとに算出している。

（2）疾病分類別医療費等の集計方法

疾病分類別の各数値は、1枚のレセプトに記載された1ないし複数の疾病名のうち、医療資源を最も投入した疾病名を主傷病（代表疾病）として、1レセプト1病名に基づき集計したものである。

疾病分類別医療費（1,304組合）：レセプト件数及び医療費総額

	レセプト件数（件）	医療費総額（円）
医科計	174,831,061	2,986,208,587,520
入院	1,779,814	961,980,257,330
入院外	173,051,247	2,024,228,330,190
歯科計	48,438,099	584,150,347,020

加入者数（年度平均）

	加入者数（人）
総計	25,570,433
本人	15,474,725
家族	10,095,843

（3）新型コロナウイルス（COVID-19）の疾病19分類区分と分類名

「新型コロナウイルス（COVID-19）」は、疾病19分類（社会保険表章用疾病分類表）では「XXII：特殊目的用コード（U00-99）」に分類されているが、本調査では便宜上、名称を「新型コロナ関連等」と置き換えている。

（4）疾病分類における「歯科」の取り扱い

疾病分類（歯科）のうち、「消化器系疾患」の医療費が全体の9割以上を占め、かつ、①う蝕、②歯肉炎及び歯周疾患、③歯及び歯の支持組織の障害一の主要3疾患が計上されていることから、便宜上、「消化器系疾患」を「歯科」としている。

2. 用語の定義

① 加入者1人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除したもの。

② 受診率（1,000人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したもの。

③ レセプト1件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したもの。

④ 1日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したもの。

⑤ 加入者1人当たり医療費の3要素分解

加入者1人当たり医療費は、①受診率、②1件当たり日数、③1日当たり医療費の積に分解することができる。

⑥ 推計受診者数（年度平均）

当該年度の各月の受診者数の和を12で除したもの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を12で除した推計値を用いている。

⑦ 加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）

当該年度の平均推計受診者数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したもの。

⑧ 1,000人当たり推計新規入院件数

当該年度4月～3月までの各月に新たに入院した患者数の合計（推計値）を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したもの。

⑨ 推計平均在院日数

退院日を含む平均在院日数の推計値である。

⑩ 推計1入院当たり医療費

入院患者1人にかかる、入院してから退院するまでの医療費の推計値である。

(参考) 入院医療費の3要素分解について

入院医療費は、【推計新規入院件数】(入院発生)、【推計平均在院日数】(入院期間)、③【入院の1日当たり医療費】(入院単価) — の3要素の積に分解でき、さらに、「推計新規入院件数」と「推計1入院当たり医療費」(*推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た1入院当たり医療費) の積に分解できる。

推計新規入院件数

$$\text{推計新規入院件数} = \text{件数} \times \frac{\text{月の日数}(\ast) - 1 \text{ 件当たり日数}}{\text{月の日数} - 1 \text{ 日}}$$

推計平均在院日数

$$\text{推計平均在院日数} = 1 \text{ 件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数} - 1 \text{ 日}}{\text{月の日数} - 1 \text{ 件当たり日数}}$$

推計1入院当たり医療費

$$\text{推計1入院当たり医療費} = \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費}$$

入院医療費

$$\begin{aligned} \text{入院医療費} &= \text{入院受診延日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計1入院当たり医療費} \end{aligned}$$

資料：厚生労働省「推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費～入院医療費の3要素分解～」

(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/iryouhoken03/06.html>) 及び「推計平均在院日数の数理分析(II)」・「算定式と関係式一覧」(p.3) をもとに作成

(*) 計算式における「月の日数」について

【単月】の場合	1ヵ月の暦日数。 例) 1月は31日。2月は28日または29日(閏年)
【複数月】の場合	複数月の日数の合計を月数で割ったもの。 例) 12ヵ月の場合：365(閏年366)日÷12=30.42(≒30.5)
